

広域連携中学生交流洋上体験研修 事業報告書



秦野市・中井町・大井町・松田町・二宮町・清川村

日程：令和元年7月31日(水)～8月2日(金)

～この事業には、市町村振興宝くじ「サマージャンボ宝くじ」の収益金が充てられています～

目 次

1	あいさつ	1
2	研修概要	3
3	研修生内訳について	4
4	研修プログラム	
(1)	事前研修	5
(2)	本研修	7
5	研修レポート	19
6	指導主任、指導担当の感想	48
7	運営スタッフ	51
8	アンケート結果	
(1)	研修生へのアンケート	53
(2)	研修生の保護者へのアンケート	55
	資料	
	○「望星丸」概要	65
	○実施要項	66
	○実行委員会規約、実行委員名簿	69
	○運営委員会規約、運営委員名簿	71

1 あいさつ



「令和元年度洋上体験研修事業を終えて」

秦野市長 高橋 昌和

本年7月31日から8月2日の日程で行われた中学生交流洋上体験研修が、無事に終了しました。

この事業は、平成13年度から秦野市の21世紀記念事業として始まり、19年目の今年は、秦野市から37名、中井町から7名、大井町から7名、松田町から5名、二宮町から7名、清川村から9名、全72名の研修生に参加いただきました。2泊3日の船上での集団生活を通して、交流と連携を深めることで、自主性、協調性及び他人を思いやる心を養うことができたのではないかと思います。

今年は天候に恵まれ、波の揺れも比較的穏やかで、快適な船上生活を送ることができたと思っています。研修の大きな目的として掲げている、「大海原をはじめ、新島の自然や歴史にふれることで、自然のすばらしさ、厳しさを体験する。」を大いに体感することができたと思います。

船上での生活は、班行動が基本です。初めて会う班員や同室の友達と過ごす中で、自分はどうよう行動したらよいかを考え、仲間と協力し、助け合いながら生活したこの3日間は、普段の学校生活の中では得ることのできない、貴重な経験として皆様の大きな財産になったと思います。

研修が終わった後、この経験を日々の生活に活かすことができるかどうかは、皆さん次第です。この研修の中で感じた団体行動での大切なこと、他人を思いやる気持ち、新たなことに挑戦する勇気、どうかその全てが今後の皆さんの人生の役に立つことを願っています。

そして保護者の皆さまには、2泊3日という期間、お子さまが親元を離れ、船上で生活することに不安や心配もあったかと思いますが、本事業の趣旨に賛同いただきましたことを厚くお礼申し上げます。

結びに、望星丸乗組員の方をはじめとした東海大学、実行委員並びに関係者の皆さまの多大なるご支援に、心から感謝申し上げます。



洋上体験研修に参加して

広域連携中学生交流洋上体験研修事業実行委員会

実行委員長 逢坂 伸一

2泊3日の「広域連携中学生交流洋上体験研修」が無事に終了しましたことをご報告いたします。比較的穏やかな船旅であり、幸い、船酔いをした参加者も少なく、ほとんどのプログラムを順調に消化することができました。

学校教育では、教科書をベースにして、社会で生きていくための基本的事柄を限られた時間の中で学ぶこととなりますが、この研修は、学校教育では果たし得ない部分を身につけることができる大切な事業であったと考えております。特に、次第に遠のいていく陸地を船上から眺めることによる新たな発見や、終日揺れ続ける船上生活で守るべきルール、あるいは深海での水圧の不思議、深海でも元気に動き回る魚類についての学びなど、様々な経験を味わうことができました。新島の綺麗な海に感動し、清水港近辺を漂うゴミに驚くなどの気づきも、これからの参加者の生活に役立つであろうことが期待されます。

一人ひとりの様々な学びのためのきっかけになるようなそれぞれの発見をもたらすとともに、日頃は必ずしも一緒に生活することのない広域エリアの中学生同士が、3日間とはいえ、協力し譲り合い、そして絆の大切さに気づくなども貴重な経験となったであろうと思います。デッキでの“ディナータイム”や“洋上フェスティバル”が大いに盛り上がったことで証明することができました。

各市町村から推薦されたスタッフの方々の適切な指導、研修生たちが自主的に行動する様子を見守っていたことが成功の裏付けでもあったと思われます。広い地域にまたがっての参加者の応募は、それぞれの市町村の学校カリキュラムや行事日程の調整など難しい問題が少なくなかったと思われますが、新たな学びのための経験、そして人と人の繋がりの大切さに気づいたことなども大きな収穫であり、いつまでも継続すべき事業であることを確信した次第です。

風光明媚な新島でのオリエンテーリングや高校生によるライフセーバーの心温まる監視のもとでの海水浴など、私たちスタッフにとっても心温まる旅でしたが、参加された中学生の皆さんの様々な経験が、これからの日常生活に少しでも良い影響を与えられることを期待したいと思います。

ご家族の皆様でも経験した方はそれほど多くはないと思われます洋上研修に中学生をお送りいただいたご家族に感謝申し上げますとともに、計画と準備、そして実施をご担当いただいた各市町村の関係各位、東海大学海洋学部、上河内信義船長以下の望星丸クルー、乗船実習学生諸君にも心からのお礼を申し上げます。

2 研修概要

【目的】

- (1) 秦野市、中井町、大井町、松田町、二宮町、清川村（以下1市4町1村という。）が市町村の枠を越えて東海大学の望星丸を用船し、中学生の体験研修事業を連携して行う。
- (2) 1市4町1村の中学生が船上の集団生活を通じて交流と連帯を深めることにより、自主性、協調性及び他人を思いやる心を養う。また、日頃経験できない洋上生活を行うことで心身を鍛える。
- (3) 海洋観測や星空観察、島の歴史や自然にふれあうことにより、自然のすばらしさ、厳しさを体験する。

【事業日程】

- (1) 第1回実行委員会：4月15日（月）
 - ・規約案、実施要項案、研修スケジュール案、事業予算案の協議
- (2) 第2回実行委員会：6月25日（火）
 - ・研修生の決定、運営委員の決定、研修スケジュール案、救急医療対応等について
- (3) 運営委員会：6月25日（火）
 - ・運営委員会スタッフの役割、研修スケジュールの確認
- (4) 事前研修：7月14日（日）
 - ・オリエンテーション、アイスブレイク、班内打合せ
- (5) 本研修：7月31日（水）～8月2日（金）
- (6) 第3回実行委員会：11月25日（月）
 - ・事業報告、決算

【使用船】

東海大学海洋調査研修船「望星丸」1，777トン

3 研修生内訳について

(1) 男女別

男子	女子	合計
40	32	72

内参加経験有 (16) 人

(2) 学年別

1年	2年	3年	合計
39	20	13	72

(3) 市町村別

秦野市						中井町						大井町					
男	女	1年	2年	3年	計	男	女	1年	2年	3年	計	男	女	1年	2年	3年	計
18	19	22	9	6	37	6	1	5	1	1	7	6	1	2	3	2	7

松田町						二宮町						清川村					
男	女	1年	2年	3年	計	男	女	1年	2年	3年	計	男	女	1年	2年	3年	計
1	4	3	0	2	5	6	1	3	3	1	7	3	6	4	4	1	9

(4) 学校別人数

※()は参加経験有

	秦野市																																							
	本町		南		東		北		大根		西		南が丘		渋沢		鶴巻		その他																					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女																				
1年	1		3	2		3							1	3	1	2	3	1		2																				
2年					1	(1)			2	(1)	1	(1)			3	(1)		2																						
3年				2	(2)				1	(1)		1				1	1	(1)																						
合計	1	(0)	0	(0)	3	(0)	4	(2)	1	(1)	3	(0)	0	(0)	0	(0)	3	(2)	1	(1)	1	(0)	0	(0)	4	(1)	3	(0)	2	(0)	5	(1)	3	(0)	1	(0)	0	(0)	2	(0)
	1	(0)	7	(2)	4	(1)	0	(0)	4	(3)	1	(0)	7	(1)	7	(1)	4	(0)	2	(0)																				

	中井町				大井町				松田町															
	中井		その他		湘光		その他		松田		その他													
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女												
1年	5				2				1	1		1												
2年		1	(1)		1		2	(2)																
3年	1	(1)			1	(1)	1	(1)				2												
合計	6	(1)	1	(1)	0	(0)	0	(0)	4	(1)	1	(1)	2	(2)	0	(0)	1	(0)	1	(0)	0	(0)	3	(0)
	7	(2)	0	(0)	5	(2)	2	(2)	2	(0)	3	(0)												

	二宮町						清川村															
	二宮		二宮西		その他		緑		宮ヶ瀬		その他											
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女										
1年		1	2					4														
2年	1	(1)	1	(1)	1		2	2														
3年					1		1															
合計	1	(1)	3	(1)	0	(0)	2	(0)	0	(0)	3	(0)	6	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	2	(1)	3	(1)	2	(0)	9	(0)	0	(0)	0	(0)										

4 研修プログラム

(1) 事前研修

- ◆と き：7月14日（日）
- ◆と ころ：はだのこども館 多目的ホール
- ◆内 容

逢坂実行委員長兼統括責任者のあいさつから始まった事前研修。この日初めて顔を合わせる班員たちにみんな緊張気味。まずは本研修のスケジュールを確認する「オリエンテーション」。そして、仲間と打ち解けるための「アイスブレイク」を行い、班長や室長などの役割を決め、その後、洋上フェスティバルのスタンツの話し合いをしました。



●受付

受付で自分の所属する班を確認します。名前がどこにあるか、探し中。

時間	主なスケジュール
9時30分	開会・あいさつ
9時45分	オリエンテーション (本研修に向けて)
10時20分	アイスブレイク (仲間作り)
10時45分	班内打ち合わせ ・班長、副班長の決定 ・室長、副室長の決定 ・洋上フェスティバルのスタンツ
12時00分	閉会、解散



●実行委員長兼統括責任者のあいさつ

3日間、仲間たちと共に過ごす上での心構えをお話いただきました。



●オリエンテーション

しおりを見ながら、スケジュールや持ち物、船上での注意事項を確認します。



●看護担当からの注意事項

看護担当の職員から、船酔いや熱中症対策の話がありました。



●指導担当紹介

各班に割り当てられる指導担当の先生たちの紹介です。



●顔合わせ

班内ではじめての自己紹介。まだちょっと緊張気味。



●アイスブレイク

仲間と打ち解けるために、ミニゲームで気持ちをほぐします。



●班内打ち合わせ

本研修2日目の夜に行われる洋上フェスティバルの打合せ。発表するスタンツ(出し物)を、班のみんなで作ります。

(2) 本研修

【1日目 7月31日(水)】

出発当日は、梅雨明け後の快晴。秦野市役所西庁舎駐車場において、各市町村の教育長や実行委員に参列いただき、研修生の保護者、市町村の職員などに見守られ行われました。

波は穏やかであったものの、普段体験しない船の揺れに、船酔いする子も多く出ました。ほぼ時間の遅れもなく順調にスケジュールを消化し、新島での露天風呂入浴、船上でのデッキディナーを楽しみました。夜に予定していた船上での星空観測が、雲の流れの影響で残念ながら実施できませんでしたが、代わりに、乗組員の方達から、ロープワークを教わりました。



●あいさつ

出発時、秦野市長はじめ、来賓の方々からごあいさつをいただきました。



●中学生交流宣言

9班の野村班長がみなさんの前で研修への意気込みを宣言しました。

1 日 目	
時間	スケジュール
6	受付
7	出発式 秦野市役所出発
8	バス移動 富士川SA休憩
9	バス移動 清水港着、乗船
10	清水港出港 船内オリエンテーション
11	昼食
12	・鮭塩焼き ・ベーコンとキャベツ炒め卵とじ 等
13	船内見学
14	新島港下船
15	露天風呂入浴
16	乗船・出港
17	夕食
18	・とりからあげ ・イカじゃが 等
19	班内会議
20	ロープワーク
21	航海日誌の記入 消灯



● 出発式での集合写真



● 望星丸に乗船

清水港から望星丸に乗船。上河内船長から、ごあいさつです。



● 緊急招集訓練①

住吉事務長から、船酔いの対応や万一の場合に使用する救命道具の使用方を教わりました。



● 緊急招集訓練②

実際に説明の通り着てみよう。7班の関野班長、上手に出来ました。



● 昼食準備

余分な洗い物を減らすため、トレーにラップを張ります。



●船内見学①

船の上には見たことのない物ばかり！
乗組員の方々から説明を受けました。



●船内見学②

操舵室から見える景色にみんな目を
輝かせています。



●新島上陸時に記念撮影



●新島港下船

下船後、みんなで湯の浜露天温泉を目指します。



●露天風呂入浴①

海辺の露天風呂は、景色も湯加減も最
高です！



●露天風呂入浴②

仲良く足湯に入浴。スタッフも一緒に一息つきます。



●夕食準備

メニューはとりからあげ、イカじゃが、エクレアでした。



●デッキディナー

デッキで夕陽や海を眺めながら、ディナーを楽しみます。



●班内会議

2日目の洋上フェスティバルに向けて、班内で打ち合わせです。



●ロープワーク

船上で使うロープの結び方を学びます。上手に出来るかな？



●航海日誌の記入

班毎に今日の一日の反省や明日の目標を話し合いました。

【2日目 8月1日（木）】

2日目はいよいよ新島へ上陸し、ウォークラリー開始。チェックポイントでは班員みんなで力を合わせながらクイズに挑戦し、チェックポイントを巡り、ゴールを目指しました。

午後は待ちに待った海水浴。透き通った海に感動し、疲れを忘れて泳ぎました。

夕食後は洋上フェスティバルの始まりです。劇やクイズ、ダンス、マジックなど様々なスタントを班毎に発表し、皆練習の成果を存分に発揮できました。

指導担当のスタントや、乗組員のクイズ大会も盛り上がりました。



●朝のつどい

朝6時に起床。眠い中、ラジオ体操を行い、心も体もリフレッシュ！



●清掃

朝食の前に、分担して望星丸の清掃を行います。

2 日 目	
時間	スケジュール
6	起床
	朝のつどい・清掃
7	朝食 ・アジ干物
8	・粗挽きウィンナー炒め 等
9	下船・新島港入港
10	ウォークラリー
11	昼食 ・から揚げ弁当
12	お土産購入
13	海水浴
14	露天風呂入浴
15	乗船・出港
16	班内会議
17	夕食 ・ポークケチャップ
18	・ナスのみそ和え 等
19	洋上フェスティバル
20	
21	航海日誌の記入
	消灯



●朝食

ウォークラリー・海水浴に備え、腹ごしらえ！



●ウォークラリー出発

暑い中、ウォークラリースタート！協力してゴールを目指します。



●長栄寺

最後のチェックポイント到着！班のみんなで、記念撮影。



●昼食

青葉会館にて昼食。歩き疲れて汗びっしょり。



●お土産購入

新島のメインストリートでお土産を購入します。名物は牛乳せんべいです。



●いざ、海水浴場へ

班毎に海水浴場へ向かいます。「はやくしないとおいでいくよー！」



●新島の海の前で記念撮影



●ダイバーの説明と準備体操
ダイバーさんから海での注意事項等の説明を聞き、準備体操も行いました。



●海水浴
透き通る緑色の海は、とても心に残っています。



●海水浴場から露天風呂へ
ダイバーさんにお礼を言い、そのまま露天風呂へ向かいます。



●露天風呂入浴
石造りの温泉は、古代ギリシャの神殿をイメージして造られています。



●班内会議

洋上フェスティバル前、最後の班内打ち合わせです。



●夕食

この日の献立は、ポークケチャップ、ナスのみそ和え、スイカでした。



●洋上フェスティバル

各班がこれまでの練習の成果を発表。どの班も素晴らしい発表でした。



●指導担当のスタンツ

サプライズで指導担当の先生たちがダンスを披露しました。



●望星丸乗組員のスタンツ

望星丸乗組員のみなさんによるクイズ大会です。



●優勝は10班！

クイズの構成や、人を惹きつける話し方が高得点につながりました。おめでとうございます！

【3日目 8月2日（金）】

あっという間に研修最終日。朝食の後
は、3日間お世話になった望星丸へ感謝の
気持ちを込めて大掃除をしました。

午前中は乗組員の説明を受けながら、海
洋観測を実施。持ってきたカップ麺の容器
での水圧実験等を行いました。

帰港式ではお世話になった船長、乗組員
の方々へ感謝の気持ちを伝えました。

バス移動を経て、秦野市カルチャーパー
ク第1駐車場で解散式。2泊3日の洋上体
験研修が無事終了しました。



●朝のつどい

今朝も朝陽を浴びながら、ラジオ体操
でスタート。



●朝食

慣れてきて、配膳の準備や盛り付けも
スムーズです。

3日目	
時間	スケジュール
6	起床
	朝のつどい
7	朝食 ・じゃことザーサイ炒め ・サラミハム 等
8	大掃除
9	
10	海洋観測 海洋に関する講話
11	昼食 ・牛すじカレー ・大根サラダ 等
12	
13	帰港式
14	清水港出発
	バス移動
15	足柄SA休憩
	バス移動
	秦野市文化会館着
16	解散式



●大掃除（後部デッキ）

お世話になった望星丸。丁寧に一生懸命掃除します。



●大掃除（食堂）

最後までゴミの分別もしっかりと行います。



●海洋プランクトンの採取①

専用の大きな網で海からプランクトンを引き上げます。



●海洋プランクトンの採取②

海から上がってきたものを小分けにして観察します。



●海洋プランクトンの採取③

玉井技術員がプランクトン以外の生物も仕分けていきます。みんな興味津々。



●海洋深層水

海底の深層水はどのくらい水の温度なのか、肌で感じました。



●水圧実験②

実験結果を待つ間、研修の振り返りを行いました。



●海洋に関する講話

玉井技術員より海洋に関するお話をしていただきました。



●水圧実験

持参したカップ麺の容器は、水圧によりこんなに小さくなりました！



●昼食

最後の昼食です。もうみんな配膳はお手のもの。



●清水港入港

あっという間に新島から清水港へ帰ってきました。



●下船準備

荷物をまとめ、船上での締めくくりでもある、帰港式に備えます。



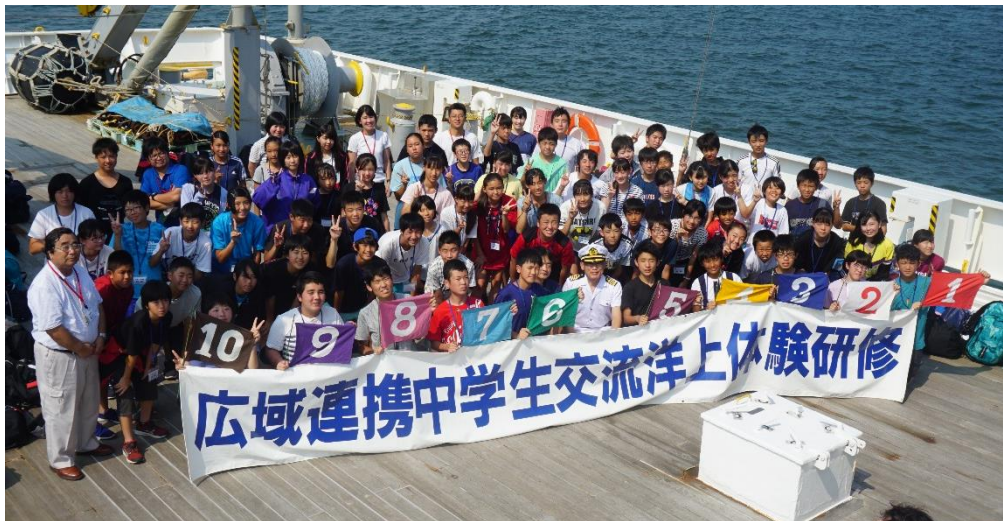
●帰港式（研修生のことば）

1 班の近藤班長が、2泊3日お世話になった望星丸の皆さんへお礼の言葉を伝えました。



●帰港式（船長のことば）

上河内船長より、研修生に向けて激励の言葉をいただきました。



●船上での
集合写真



●解散式

秦野市カルチャーパークでの解散式。逢坂統括責任者からこれまでの研修を通じて挨拶がありました。



●解散式（研修生のことば）

3年間研修に参加した 10 班の川辺班長が、代表して研修生のことばを述べ、3日間の研修を締めくくりました。

5 研修レポート

【1班】

◎班長

近藤 俊介

○副班長

谷口 楓翔

〔班員〕

岩田 実波

菊池 陽菜

清田 実希

田中 志羽

宝槻 晴都

山口 春希



◆近藤 俊介

この研修に参加して、学んだことや感じたことは、船のことについてや新島の事についてや、他校との交流ができたこと。それから、普段できないようなきちょうな経験を積めたこと。船のことについては、エンジンのそばには、火気が厳禁や、研究室が二つあること、見張りは深夜もやらなきゃいけないなどたくさんの分からないことや意外なことが分かった。新島の事については、海がきれいなことや、意外にも徳川家関わっていたことなどが分かった。他校の人とは、たくさんのことについて共有できたり、2日間で、鍛えることができた。協力するスタンプ、様々な経験を積むことができた。これからはこの経験や思い出をむねに生かしていきたい。

◆谷口 楓翔

この研修では、いろいろな性格の人がいて、みんなでただいだけでも楽しく過ごす事ができました。あと、ふだん出来ない経験（船の上の生活など）ができ、本当にきちょうな時間だなと実感しました。もし、できれば来年も参加したいです。最後に、この3日間でできた友だちともこれからも仲良くしたいと思います。ありがとうございました。

◆岩田 実波

最初の研修で仲良くなれるか少し不安だったけど、スタンプやウォークラリーなどをしたことによって仲の良さが増したと思う。寝るところの部屋もはじめて合う人が多くて、仲良くできるか不安だったけど、部屋のメンバーでのきまりごとなどをつくったら部屋の

メンバーとも仲良くできて、この洋上体験研修で1友だちが10人以上増えてうれしかった。スタンプで、はじめはまじめにやってくれない子もいたけど、その子も一緒にスタンプ練習をしてくれた。でも、スタンプ当日に音のふぐあいがあり、ビックリした。けどそのあと手びょうしをしてくれたり、ダンスがおわってから「〇〇が上手だった！」など声をかけられて、がんばったかいがあったなと思いました。

◆菊池 陽菜

私はこの体験は始めてだったけれど、他の学校の生徒とふれあい、行動することができ絆が生まれたと私は思っています。「望星丸」を始めて見た時、おどろきました。他校の生徒と班になって、新島で行動しました。ウォークラリーや洋上フェスティバルとさまざまな行事を班の人たちと盛り上げました。そして、食事準備、清掃など、班の人たちと協力して取り組みました。2泊3日と少ない時間だったけれどこの時間は私にとって大切な物となりました。楽しかったこと 洋上フェスティバルという大きな行事がありました。その中で1班はダンスをすることになり、2日間の1時間を使って練習し、優勝まではいけませんでした。けれど、楽しく班の人と取り組めて良かったと思います。

◆清田 実希

私は今回、3回目でのこの洋上研修がラストになってしまうのですが、初めて、1日目から新島に行くことができ、すごくうれしかったです。班の子とはなかなかうまく話すことが出来なかったけれど、みんな優しくしてくれて、とても充実した3日間になりました。1日目から露天風呂に入ったり、1、2、3回目とそれぞれ違う内容で色々な意味でとても楽しめました。2日目のウォークラリーでとても暑い中、班のみんなと協力してゴールできた喜びや、洋上フェスティバルでたった2日で覚えたダンスを踊った達成感が感じられ、すごく充実していました。泊まる部屋の子とはすぐに仲良くなって、夜遅くまでUNOをしたり、趣味の話をしたり、自分たちが通っているそれぞれの学校の話をしたり…とても楽しく忘れられない思い出になりました。そして洋上フェスティバルのとき、私のにがてな、前に出て1人で話すことが、始めの言葉でできて、この研修に参加して本当によかったなと思いました。



◆田中 志羽

いろいろな人と関わって協力・団結しあうことが大事だと思いました。みんなで集合場所に早く集まれたのも声かけがあったり、洋上フェスティバルでは、みんなで練習して、本

番うまく出来たのも、協力のおかげだし、ウォークラリーでは、早く終わることが出来たのもみんなでチェックポイントの場所を考えたり出来たのも、団結しあっていただけだと思います。また、この研修にたずさわった人に感謝することが大事だと思いました。僕たちが楽しい研修が出来たのは、スタッフ方々のおかげです。また、大きなけががなく、終わりを迎えることが出来るのも、スタッフの方々が安全に気を配ってくれたからです。楽しい研修をありがとうございました。そして、みんなも仲良くしてくれてどうもありがとうございました。

◆宝槻 晴都

洋上研修で学んだことは、「仲間との協力が大切」ということです。事前研修でのスタンツを考えた時も、ウォークラリーで道を考えた時も、班内会議でスタンツ（ダンス）の練習をした時も、班員全員で協力が出来たからこそスタンツがしっかり出来たと思います。この洋上研修の良いと思う所は、「いろいろな人と関わりがもてる」ということです。この研修の中にはウォークラリーなど班行動が多いため、班員の人との関わりが大切になってきます。そのため、話し合いなど関わりが多くできます。洋上研修では、普通では出来ない事が多く楽しいので、来年も出来たらまた参加したいと思います。

◆山口 春希

この研修で学んだことは、船での生活や、新島のいい所、仲間との協力です。感じたことは、仲間と協力すればなんでもできる、仲間がいるのはいいなと思いました。新島はとても海がきれいで、とてもきもちよかったし、温泉は、いろんなつかれがとれてよかったです。





【2班】

◎班長

笹崎 恵

○副班長

山口 幸生

〔班 員〕

石野 光太

伊藤 紅葉

熊谷 彩未

橋本 遥大

林 東吾

◆笹崎 恵

私は昨年も参加したけど、1日目に雨が降っていて新島に上陸できなかったし、他の学校の子ともあまりしゃべれなかったけど、今回は3日ともスケジュール通りに良かったと思いました。初めて班長になって、最初はまとまりがなく、不安でしたが、班内会議の時には、みんなが協力して意見を言ってくれたり、作業をしてくれて、2日目のウォークラリーでは、事前に調べてあった知識のおかげで全問正解でき、1番にゴールもできてよかったです。夜の洋上フェスティバルは、思ったよりもみんな盛り上がってくれて、全体の順位で3位になることができて、すごいうれしかったです。この班は食べ終わるのが遅かったり、団結力があまりなかったけど、結果も残せたり、みんな仲良く話したりできたので、良い班で楽しかったです。班長としてみんなをまとめたり、クイズで船や新島について学べたりできて、とてもいい思い出ができました。

◆山口 幸生

最初は知らない人との交流はとまどって話ができなかったけど、どんどんすごしていく内に話が気がるにかけれました。3日間は長いと感じていたけれど、1日、1日が早く終わるって感じがしました。知らない人との交流はとくいではないけど、たのしく生活できたのでうれしかったです。特に2日目の海水浴がたのしかったです。海に初めて行ったので海は辛かったけど、いっぱいおよげておもしろかったです。またきかいがあったら行きたいと思いました。

◆石野 光太

今回初めて洋上体験に参加して感じたことは、他の中学校の人とも仲良くなれるようになったことです。事前研修で、この班の人に会って、初対面で全然話せなかったけど、事前研修のアイスブレイクの時点で友達が出来て、本研修で久しぶりに会って、この本研修でもどんどん友達が出来てうれしかったです。新島にはたくさんの店がありました。特に「くさや」の店が多くてびっくりしました。この研修でわかった事は、仲間と協力し、積極的に行動することの大切さを学びました。

◆伊藤 紅葉

ぼくは、洋上体験に参加してよかったなと思いました。なぜそう思うかというところ他の中学の人と仲良くなれて、新島のことをよくしれたからです。ぼくは前まで、人と話すのが苦手でした。でも、洋上体験で勇気を出し話しかけてみました。すると相手は「ん？なに」とニコっとしてながら返してくれて、仲の良い友達となれました。ぼくは、とてもうれしく思い、勇気を出して行動すると、良い結果がのこるということを知りました。それで仲良くなった友達と一緒に新島の事を学びました。新島は、人が優しく、石でできたモヤイ像や、湯の浜露天風呂とかを知り、ゆっくりできる良い所だなと思いました。この洋上体験はまだまだたくさんの思い出がありました。なので、またこのような楽しい思い出をつくりたいので、また行ってもっとたくさんの人と仲良くなりたいです。

◆熊谷 彩未

事前研修のときは空気も重だるくてとても不安だった。1日目のバスの中では男子はすっかりうちとけて楽しそうにしていたけど、私はなかなかとなりの女子に話かけることができなかった。船酔いもして最悪な気分だったけど、班の女子や部室の女子が心配してくれてとても嬉しかった。1日目は全然男子とは話せなかったけど、2日目は行事も多く話す機会もたくさんあった。だから、自分から積極的に話すことを意識していたら、班の子ともすっかりうちとけていた。また、班の子とも寝る部室の子とも協力して5分前行動やウォークラリーを進めることができた。他校の子と話すことは得意ではなかったけど、勇気をふりしぼって話してみると思った以上に楽しいことがたくさんある。だから何事も責任を持ち積極的にみんなと協力することが大切だということをこの研修から学んだ。



◆橋本 遥大

今回、親にすすめられて洋上体験研修に参加することになったとき、自分は話すことが二ガテだし自分で満足できればそれでいいとっていて、事前研修のときも緊張してまったくしゃべれなかったです。でも、事前研修のときにあまり話さなかった人たちが本研修のときにだんだん話すようになってきて、そこにまざって話しかけてみたらすぐに仲良くなったので、そこからは楽しく活動できました。班の人とも仲良くなって、いろいろなことを協力してできたのでいい思い出になりました。

◆林 東吾

私は、この洋上体験研修には昨年引き続き、2回目でした。昨年と内容がほとんどいっしょでしたが、また昨年とまったく違ういい思い出を作れました。1日目は、2班のメンバーと仲良くなれて普通に話せるようになりました。2日目は、洋上体験フェスティバルについてです。昨年と違い今年の結果は3位になって、とてもうれしかったです。3日目は、最後の日でメンバーと離れるのはざんねんですがそれもまたいい体験だったと思いき出せるのでいいと思えました。この3日間の体験で学んだことは、2班のメンバーと協力して、課題をクリアしていく、協力するということだと思いました。



【3班】

◎班長

山田 安人

○副班長

丸山 巨輝

〔班 員〕

経塚 麻緒

工藤 さくら

酒井 万理

畠山 俊介

和田 悠雅



◆山田 安人

私はこの洋上研修に参加して、第一に感じたことは、「団結力」です。正直、私は、班長として、全員とのコミュニケーションがとれましたが、班員全員がうちとけたか、というと、そうでないところがあると思います。特に男女の溝が少しだけ深かったかなと思いました。この溝がしっかり埋まっていれば、きっと洋上フェスの発表ももっと良くなっただろうし、全部がより良い経験になったと思います。そこは、班長としてダメだった点だなと思いました。裏面にも書きましたが、研修と日常は別の枠にして考えていますが、今年私は学級委員なので、クラスのたくさんの溝を深めることは、戒めとして、日常に持ち帰ろうと思いました。

◆丸山 巨輝

私は、この研修が楽しいだけかと思っていましたが、研修に参加してみると、自分達で食べたお皿を運んだり、拭いたり、他にもスケジュール時間を守って行動したり、思っていた以上に大変で驚きました。船の仕組みや、レーダーなど普段見られないものをたくさん見せていただいたので、とても楽しい研修になりました！！スタンプでは、短い間で仲間と協力してクイズを作ったので、とてもいいものが出来ました。なので、この研修で学んだことを普段の生活に生かせるように頑張りたいと思いました！！

◆経塚 麻緒

今回、私が洋上体験研修に参加することによって、最初に自分の目標の「自主・自立性」だったり、生活するなかで、自分でスケジュールを見るだったりなどでさらにはぐくま

れていったのかなと思いました。それは、ウォークラリーでもはぐくまれていったとも思っています。さらに、自分が知っている人がいないなかで、「どう仲良くなるか」でぜったいにやらなくてはいけない、さけてはとおれない、自分とのたたかいをしていたようにも私はかんじました。ですが、今回で残念だったのが、「星空観測」が出来なかったことと、温泉にゆっくりおちついたじょうたいで入れなかったことです。でも、私は研修を通して、自分の目標の「自主・自立性」だったり「コミュニケーション能力」が1番たかめられたのではないかなと思いました。

◆工藤 さくら

私が今回の洋上体験研修で学んだことは、他校の仲間とのふれあいで、自主性や協力性、人を思いやる心、自然のすばらしさや、厳しさを学びました。私が、一番頑張った事は、夕食が、終わった後のお片づけや、他校の人達と接することです。お片づけでは、90人分のお皿を、みんなで、拭き、他校の人達とは、初めは、話すことが、見つからずあまり、接する事が少なかったですが、時間が経つにつれ、話す事が、出来るようになりました。今回の体験で、色々な事を、学び、感じました。この、体験をほこりに思い、これからも生かしていきたいと思えます。

◆酒井 万理

僕がこの洋上体験で学んだことは、生活していく中でのことを学べたり、自分てきにも積極的に変われました。たとえば、初めて会った他校生の人たちとグループになって自分から積極的にいったらうまくいったし、新島の歴史や船の事など新しく学べた事が色々あってすごくいい研修になりました。感じたことは、自分でも楽しかったし、相手とも楽しめたのでこの洋上体験研修はいい体験になりました。

◆畠山 俊介

ぼくが洋上体験研修に参加して学んだことは、みんなで協力することです。食器の片付けやウォークラリー、洋上フェスティバルで協力することが大切と感じました。ウォークラリーは、みんなで問題を解いたり、道を探したりして大切だと思いました。一番大切だと感じたときは洋上フェスティバルです。問題を考えたり、ならば順番を決めたりしました。最初は知らない人とできるか不安だ



ったけど、できてよかったです。この研修をいかして、これからすごそうと思いました。

◆和田 悠雅

自分がこの洋上体験研修に参加して学んだことは、望星丸にのるとき、船にのるのがはじめてだったので、船酔いしないかや船の中はどうかんじなのだろうかと思い、船酔いせずに船の中のエンジンなどをみてとくにはじめてしったのがドライラボとウェトラボでパソコンなどがおいてあるへやと海の中の砂を実験するへやなどにわかれて、海のことを調べることができてすごいおどろいた。ウォークラリーでは歩くのがたいへんだったけれど新島のことをクイズで知り、たとえばモヤイ像はの「モヤイ」の意味は「力をあわせる」といういみがあり知ることができました。ウォークラリーなどは班こうどうできたのでだんたいこうどうを学校もいかしていきたい。





【4班】

◎班長

森本 空志

○副班長

小早川 礼

〔班 員〕

佐竹 響

関野 愛美

宮下 英里香

牟田 千紗都

山本 和果

◆森本 空志

今回洋上研修は2回目で前回とは違い班長になりました。やっていて班長は少し大変だなと思うときがありました。なので今回、班長をやってみてみんなをまとめる、大変さと大切さがわかりました。新島での、ウォークラリーでは昨年とコースが違ったのでまた少し、新島のことが知れたのかなと感じました。チェックポイントのところでおこなわれたクイズでは班みんなで協力しあい答えをみつけることができました。自分一人ではできないことも班みんなで協力すればできるんだなと思いチームワークの大切さがわかりました。洋上フェスティバルでは個人個人の役目をはたすことができました。本番ではミスをしてしまったところはありませんでしたが2位をとれてよかったです。2位をとれたのはみんなで話し合いをしながらしたからだと思います。来年も参加したいなと思っています。

◆小早川 礼

自分は今回の洋上体験研修に参加して、チャレンジすることを学びました。7月31日の初日になるまで、スタンプや他校生との交流について、不安でした。洋上体験研修当日、清水港について船に乗ると、班の行動が多く、班のメンバーとは普通に話せるようになり、不安の1つが消えました。そして2日目。部屋の人とも仲良くなり、とてもうれしかったです。そして、スタンプ本番、練習では周りの人は演技がうまく、自分だけ取り残されてる感じがしましたが、本番で全力を出してやったら、2位になることができました。このことで、周りの人の事をしらなくても、協力して全力を出してチャレンジすれば、相手の事がわかるようになると思いました。事前研修でも、副班長にチャレンジしましたが、

これからはもっと多くの事にチャレンジして、色々なことを経験して行きたいです。

◆佐竹 響

私は今回の洋上体験研修で海の知識や船のこと、ロープワークなど色々学ばせてもらいましたが、一番学べたと思うのは、仲間の大切さとチームワークの楽しさです。事前研修の時は、班のメンバーも部屋のメンバーもあまりうちとけず、すごく静かでしたが、本研修が進むにつれ、皆だんだん話すようになってすごく楽しくなってきました。不安で一杯だったスタンプも、班のみんなで力を合わせて2位に入れてとても驚いたし、うれしかったです。部屋でも初めて入った時は、みんなあまりしゃべりませんでした。ある1人のメンバーが明るくみんなに声をかけて盛り上げてくれたおかげで、みんな沢山話すようになり、すごく仲が良くなりました。その人にはすごく感謝していて、自分も見習いたいと思いました。来年はもう高校生で、この研修には参加できないのがすごく残念なので、高2~3くらいまで参加可能年齢を引き上げてほしいと思いました。もしまた参加できるチャンスがあったら、今回仲良くなったみんなと、一緒に楽しい時間を過ごしたいです。

◆関野 愛美

はじめて会う仲間とはじめての洋上という環境で楽しく過ごせるか、研修が始まる前は少し不安でした。しかし、研修が始まると不安だったことを忘れてしまうくらい楽しむことができました。とくに洋上フェスティバルが印象に残っています。事前研修のときから意見をだしあって協力してきた班の仲間たちと、力を合わせフォローしあいながら成功させることができました。ウォークラリーでも班全員で話し合ったり、考えたりしたことによって一番にゴールすることができ、クイズも全て正解することができました。また、船の構造や大きさは想像していたものより大きく、とてもおどろきました。この体験で、今までよりもさらに協力やお互いをフォローしあうということの大切さを学びました。はじめてのことばかりの研修だったけれど、とてもよい経験、そして思い出となりました。またチャンスがあれば参加してみたいです。

◆宮下 英里香

私は初めてこの研修でに参加して、たくさんのことを学びました。1つ目は他校との交流です。この研修では班、寝る班、すべてが知らない人たちだったのでいつも一緒に居る人だけでなく一緒に班になった人たちと仲良くなれます。なので学校の研修旅行とは違い、良い体験が出来ました。2つ目は常に海の上にいるということです。海の上にいると地上とは生活が違いました。海だとスマホもTVも見れないため、同じ部屋の人ともたくさん話せました。3つ目はご飯のときの配膳や食器を班で協



カしてかたづけることです。家では自分のペースで出来ますが、時間が限られているから、効率の良さを求められました。これは勉強や日常生活でも役立つと思うので、効率の良さが出来るようにこれから頑張っていこうと思います。

◆牟田 千紗都

洋上研修 1 日目。私は、一緒に班の子とも話さず、話す?としてもいわれたことに「うん」「はい」など最低げんのことしかしゃべりませんでした。そんな私が、一緒にご飯を食べたり、ウォークラリーをしたり、海水浴をしたり、スタンプをしたりする中で、他の学校の子と友だちになれたり、一緒に話していて「楽しい」と思えるようになりました。その中でも私が一番、みんなと仲良くなれたきっかけになったと思うのがスタンプです。練習をみんなですて、それぞれ思っていることを言いあって…。スタンプ以外にもウォークラリーやスタンプの練習など、班で一つのものを作りあげるといのは、とても今回思い出に残りました。最終日には「さびしいな」「もっと一緒にいたい」と思えるようになりました。今回の研修、とても思い出に残りました。

◆山本 和果

今回の洋上体験研修では、他校・他の市町村の人と協力して、仲良くなることができ良かったです。私が一番仲間と協力できたと思うのは、スタンプです。事前研修の時、初めて顔合わせをし、スタンプの会議をしました。そして、げきをやることにしました。内容の案を出しあい、桃太郎とかぐや姫で、4人4人にわかれてしまいました。なので、どちらも合わせることにしました。「桃竹物語」と称して役を決めました。そして、本研修 1 日目。班内会議をしました。セリフを考え、いざ練習へ。もう、ぐだぐだでした。そんな感じでむかえた 2 日目。練習をし、本番。ドキドキでした。なんと、私達の班は 2 位をかくとくしました。本当にビックリです。私は、このことから、仲間との協力は大切だなあと思いました。学校では、こういうのがあっても、みんな全然やる気がなく、てきとうにたいな感じになります。そしてなにより、この仲間は、ほぼ初対面なのです。なので、誰だろうと、団結力とやる気があれば、何でもできるんだと思います。来年も参加したいと思います。とても楽しかったです。とても大切な思い出になりました。





【5班】

◎班長
高橋 凜太郎
○副班長
斉藤 諒介
〔班 員〕
河西 和香
河西 柚菜
佐藤 菜摘
静 琉之
竹田 大志
中島 碧音

◆高橋 凜太郎

僕が洋上体験に参加して学んだ事は、いつもなら体験出来ない様な事をする事が出来、色々な性格の子と考え、学び、答えを導き出す楽しさなどを感じる事で自分の性格や、直すべき所などを見つめ直す事が、洋上体験を通し、感じる事が出来ました。ふだん生活している所とは 180 度違う生活を送ることは、簡単ではありません。そんな中でも、班員と力を合わせ、規則正しい生活「礼儀・時間・環境」を守り、なおかつ楽しくすごす事で、洋上体験に参加した人しか分からない人と人との見えないつながりが出来ると思います。洋上体験を楽しめたのは班員とスタッフの皆さんのおかげです。そして何より、お母さん、お父さんのおかげだと思います。この感謝の気持ちと洋上体験で学んだ事を学校や地域で広めて行きたいです。

◆斉藤 諒介

僕は今回の洋上体験研修に参加して、三つのことを学びました。一つ目は、普段知ることのできないものを学ぶ楽しさです。特別な体験をしたことで、たくさんの知識を身につけることができました。二つ目は、はずかしくでも思い切ってやってみることで、良いパフォーマンスができるということです。スタンツで、はずかしかったけれど、思い切ってやってみたことで、見ている人にすごいなと思わせることができましたからです。三つ目は仲間と協力することでいつも以上に力を発揮することができるということです。仲間と協力したことで、1人ではうまくいかないことがとても上手にできたからです。僕はこの研修に参加したことで、人としてとても成長することができました。来年もチャンスがあった

ら研修に参加したいです。

◆河西 和香

洋上体験研修に参加してみて、学ぶことと楽しむ所がたくさん作られていて、成長できた面がすごくあります。班が知らない人ばかりなことにすこしおどろきましたが、すぐ仲良くなれて、自分の視野が広がったと思えました。船酔いがすごかったのですが、おもしろい友達のおかげで、船の上にもっといたいと考えるようになりました。天然温泉は入れなかったけど、景色がすごくキレイで、楽しめました。洋上フェスティバルはマジックで、よく上手にできたので、終わったあとに、また友達と話せるきっかけになれたので良かったです。来年も行きたいと思いました。

◆河西 柚菜

洋上体験をして、とても楽しかったです。班の子とも友だちになれたし、いろいろなことを話したりすることができました。一番楽しかったことは、友だちづくりです。いろいろな人と友だちになって、話したりするのが楽しかったです。洋上フェスティバルで、班で、話しあって、決めて、練習したりするのも楽しかったです。実際にやってみて、失敗せずみんなできたので良かったです。それに、目標だった、「おどろき」のテーマをたっせいすることができたので良かったです。ウォークラリーでは、みんなで協力してゴールにたどりつくことができました。とちゅうで道にまよってしまった時、班で話し合ったり、近くの人に聞いたりしてもっと仲良くなれた気がします。ねるへやも、友だちができて、トランプなど、話したりしてあそびました。朝おき時、おこしあって、おきることができました。

◆佐藤 菜摘

洋上体験研修に参加して、今までしたことのない体験が出来て、楽しかったです。船にのるのは初めてで、船酔いとか心配だったけど、同じ班の人や、同じ部屋の人たちとコミュニケーションがとれるようになり、3日目になると、とても仲良くなりました。ウォークラリーでは、道にまよったりしたけどなんとか、全部まわって、その後の海水浴も海がキレイで楽しかったです。そして、私が一番心に残っているのは洋上フェスティバルです。班のみんながしっかり練習して、みんなのマジックが成功して、他の班がおどろいた顔をしていて、うれしかったです。他の班は、クイズやダンスをしていて、どの班も色々な工夫がしてあって楽しい洋上フェスティバルになりました。いつもは体験できないようなことをたくさんできたとし、他校生との交流もできた、楽しい3日でした。2年になったら、またこの研修にきて、色々なことを学びたいです。



◆静 琉之

自分が洋上体験研修に参加して学んだことは、「団体行動の大切さ」です。たぶん今回の洋上体験研修で個人で行動する時間はなかったし、自分勝手な行動をすると、周りにも迷惑がかかるからです。「自分勝手な行動」の1つに「時間を守らない」という例があると思います。スケジュールを配られているし、時計もあるのだから、時間だけは守ろうと思いました。「朝起きれない」というのは、周りの人に起こしてもらおうというのも、団体行動の1つだと思いました。去年参加した時はこのような事があまり思わなかったけど、今回の洋上体験研修は本当に充実していたと思います。来年も絶対に参加して今年以上の体験をしたいです。

◆竹田 大志

最初の事前研修の時、なかなかうちとけず、きんちょうしたけど、当日になると、うそみたいになごめて良かった。一番印象に残ったことは、海で遊んだことです、ダイバーさんの注意事項の時に、ここまでしか入れないのかなって思ったけど、予想以上に深くて、足もつかなくてびっくりした。もう一つ良かった所は、ルームメイトのメンツがとても良かった所です。部屋に戻る時は、いつもワクワクしました。洋上体験の話を親に持ちかけられたとき、最初は戸まどったけど、行くことに決めました。でも、一人では心細かったため、友達を誘うことにしました。友達も OK してくれて、とてもうれしかったです。この洋上体験で学んだことは、失敗を恐れず、チャレンジすることです。何事にも、やらなくて失敗するより、やって失敗した方が良いということ学びました。洋上体験は、とても楽しくて、メンバーともすごくなごめて、とても良かったです。また来年も、この洋上体験に来たいと思いました。

◆中島 碧音

事前研修に参加できなくて、分からないことがあったり、友達ができるか心配だったりしました。でも、洋上体験研修に参加して、班の子や他の班の子と仲良くなることができ良かったです。今回の洋上体験研修で仲良くなった子とまた会いたいです。海のことや船(望星丸)のことについて学ぶことができました。ロープワークで教えてもらった結び方など普段の生活に生かしたいです。1番楽しかったことは海水浴です。海がとてもきれいで、貝がらやきれいな石を探すのが楽しかったです。船上生活と日常生活では、違うことがたくさんあって驚くこともありました。





【6班】

◎班長

真壁 匠

○副班長

相原 哉汰

〔班 員〕

石井 薫

奥野 佑渚

島貫 竜斗

鈴木 羚央

中川原 菜那

中村 絢音

◆真壁 匠

研修の最初は、とても緊張したり、不安だったりしていやだった。でも、班や部屋の人と仲良くなって、楽しく学べた。具体的に研修では、ふねの構造をふだん入れない所に入って学べた。そして、ふねでの生活の楽しい事（海をみれる、気持ちいい）、嫌な事（ゆれる、地震が心配）もよく分かった。ウォークラリーでは、新島のイチオシの場所にけっこう行けたので、観光している気分にもなれた、一番印象に残った場所は、謎の榎で、ミステリアスだから印象に残った。なぜか、べんとうを食べた所も印象に残った。ふねでの生活も悪くない、1つの島にもたくさん魅力があると感じた。

◆相原 哉汰

ペースはいぶんが大切さや、望星丸の年れいなど。後、新島の日ざしの強さとチームワークの必要性、昼と夜と場所で海の色が変わる事。去年は接岸不可だったけど、今年はふつうに行けてよかった。フェスティバルのスタンプはあまりグダッてなくてよかったと思う。

◆石井 薫

洋上体験に参加して、まったく知らない人との交流は、とても楽しかったです。スタンプを考えるなど中々しないことを体験して、考えるのって楽しいなと思いました。それも班のみんなとやっていると、みんなとの壁がなくなっていくような気がして、最初はそんなに話さなかったけれど、最後の方はなんのためらいもなく話せるようになって。1日、

2日でもこんなに仲よくなれるんだなと思いました。新しい体験もでき、ケガもなく楽しい研修でした。また来年も来る事ができたらなと思います。

◆奥野 佑渚

洋上体験研修を通して、班行動で協力する楽しさを学びました。事前研修の時は、初めて出会う人ばかりで、少しきんちょうしました。でも、本研修の日をかさねるごとに班のみんなと仲良くできて、とてもうれしかったです。班行動の中で一番印しように残っているのは、洋上フェスティバルの打合せです。桃太郎のお話をどう変えていくか、みんな自分のそうそう力をじゅうぶんに発揮して考えることができていました。テーマが「そうそう力」なので、とても良かったと思いました。私は、この3日間、とても濃い時間をすごすことができました。班行動をここまで長くしたのは人生初です。また、新島に来たのも初めてのことで、初めてのことで、少し困ったりもしましたが初体験をたくさんすることができて、とても良い研修だったと思いました。

◆島貫 竜斗

今まで海や船にふれていなかったのでいろんなことをよく知りました。船のしくみや船の中の生活、そして生物などたくさんのことを学びました。たとえば、船には船長や航海士だけではなく機関士や操舵手などたくさんの役割がありました。他にも船の構造は機関室や甲板、調理室とかいろいろたくさんある部屋があっただけで、それ以外にもはじめて会う人との交流の場をつくってくれました。新しいものだらけでしたが、「班」という強い味方が背中を押してくれました。私には「友達」がいるからこれからも「友」といっしょにたくさんのことを学びたいと思いました。

◆鈴木 羚央

いろんな人達のおもしろいところや、いいところを学んだ。時間を守るのが、大事ということをしっかり学んだ。たくさんの人と友達になって、とても楽しく過ごした。新島は海がきれい。あと、あいさつも相手から言われるので、コミュニケーションがとりやすかったと感じた。短時間でも上手なスタンプができ、とても楽しいと感じた。砂の上を、はだして走ると、ケガを
すると感じた。望星丸では、海のきれいさ、夕日の美しさ、船のすごさなど、とても学んだ。望星丸は、たくさん移動もできるし、事故もないので、すごいと感じた。



◆中川原 菜那

私が一番感じたことは、海水浴と洋上フェスティバルです。理由は、海水浴ではみんなといっしょに遊んだり、ゆういぎに楽しめたことが思い出です。洋上フェスティバルでは、班の子たちと協力しあって、いけんをだしあう場がとてもいんしょうてきです。とくにセリフの部分のアドリブを試してみたり、1人1人の行動や、セリフがとてもおもしろく作ったりしたところが、とても楽しくみんなで、できたので良かったです。学んだことは、人と人とのかかわりがとても深まる場をいただいたなと思います。私は、あまり人とのかかわりかたなどがあまり好きではなかったのですが、この体験でさまざまなことを学んだと思いました。

◆中村 絢音

今回の洋上体験で感じた事は、班の人、洋上体験に参加している人と協力して、一つの目標を達せいた時の喜び、うれしさが、今回の洋上体験で感じられたことです。今回の洋上体験で学んだことは、仲間と協力することの大切さです、洋上フェスティバルのスタンプでげきをしました、その内容は、皆で案を出し合って、皆で協力して作りました、一人だったら何も決まらずにおわっていたと思います。他にも、ウォークラリーでは、地図を見ながら進んでいきました。その時も全員で協力しました。私は、この3日間で他にも色々な事を感じ、色々な事を学んで、とてもいいいけんになったと思います。



【7班】

◎班長

関野 裕介

○副班長

深瀬 茉央

〔班 員〕

浅野 大空

岸本 璃音

坂井 秋桜

清水 優香

竹内 煌星



◆関野 裕介

今年の洋上研修で学んだことは2つあります。1つ目は、みんなをまとめることの難しさです。今回は班長になり、スタッツやウォークラリーなどで、みんなの意見を聞き、決める場面が多く、そのときになるべく意見を多く取り入れた案にすることがとても大変でした。2つ目は、自分から話しかけることの大切さです。班のメンバーや部屋のメンバーとは、事前研修のときはきん張して、ほとんど何も話せませんでした。本研修で話してみると、みんなおもしろくて良い人で、3日ほどしかいっしょにいないのに、何年も前からの友達のようになれたかなと思います。今年の研修は絶対忘れない物となると思います。また来年も参加して、次はスタッツで1位をとりたいです。

◆深瀬 茉央

船に乗るのは初めての体験で、最初は頭が痛くなったけれど、後からなれてきて、楽しむことができた。お風呂で、2日間頭を洗えなかったことがつらかったのと、食器を洗うのに。水道が2か所、人が2人しかいなかったのと、とても大変だったし、時間がかかった。ウォークラリーは、途中で班員がばらばらになったり、道がわからなくなったりして大変だったし暑かったけれど、ゴールできてよかった。お土産を買うときも、1つのお店に集中してなかなか会計ができず、海につくのがおくれてしまったから、全体的にもっと時間にゆとりがほしいと思った。海水浴は、スタッフの人と水かけをしたのが印象に残っている。スタッツはなかなか練習できず、話をきいてくれない人もいたが、最後までおどきれてよかった。洋上体験研修に参加して、自分が積極的になったと思うし、友達もたくさんできて写真もとれたので、楽しい思い出になった。

◆浅野 大空

洋上体験研修を通して、始めはきんちょうしていたけど、だんだんなれてきて他校の人とも仲良くできるようになり、ウォークラリーや洋上フェスティバルを楽しく盛り上がることができました。洋上フェスティバルが一番印象に残っていて、短い期間の練習だったけど班でしっかり話し合ったり、個人の練習を含めて、その積み重ねが良い結果になっていい思い出になったかなと思います。また、船内見学では、普段みられないエンジンなどもみることができ、とても良い経験になったと思います。この経験を、これからの学校生活などで生かせるように頑張ります。

◆岸本 璃音

事前研修のときに、班の人や部屋が一緒の人と全然はなせなくて、研修のときにとっても不安だった。だけど、むこうから話かけてくれたり、洋上フェスティバルのダンスの練習などでとても仲良くなれた。知らない人に話かけるのはとても勇気がいることで大変だけど、やってみると意外にそうでもないことに気がついた。1日目は「家に帰りたい」とずっと思っていたけど、3日目には、この研修があつという間に終わってしまうという気持ちになり、少しさみしいと思った。ウォークラリーや洋上フェスティバルなど、班で協力して物事をとげる力がついたと思う。来年は行けないけど、この研修で学んだことを生かしたい。

◆坂井 秋桜

今回の洋上体験研修で学んだことは、時間がたいせつだと思いました。あと、みんなのことを考えながら生活できたと思います。ぼくがやらないといけないものを友だちがやってくれたり、友だちがやらないといけないものをぼくがやったりと、なかまとのきょう力ができたと思いました。

◆清水 優香

船の上で生活するのははじめてで、船酔いでつらかったけど、他校の子と仲良くなれたし、海についていろいろな事を学べたので良かったです。とくにウォークラリーでは、新島のモヤイ像のことや、砂んごいの道のことなど、色々なことを知る



ことができました。それと、望星丸についても沢山知ることができました。班で協力することもできたので良かったです。それに、自分が積極的になることができました。

◆竹内 煌星

1日目、みんなとあってきんちょうしたけれど、だんだん慣れてしゃべれるようになった。はんのみんなとも、はなせて、ほかの班とかの人にもじぶんからはなせるようになった。2日目、ウォークラリーをやって、海水浴でおよいだりしました。湯の浜露天温泉には行ってさっぱりしたあとに洋上フェスティバルをやってやるばなったらきんちょうして、けれどだんだんへいきになりました。3日目、大掃除をしたあとに海洋観測をやってかっぴめんのかっぴをしめました。





【8班】

◎班長

田村 洸陽

○副班長

牧 亮哉

〔班 員〕

石井 愛莉

梅橋 千紘

清田 侑希

長谷川 聖南

波多野 明

◆田村 洸陽

今回の洋上体験を通して他校の生徒と楽しく活動することができたと思います。たとえば、洋上フェスティバルで準備時間が短いなか班のみんなと協力してスタンプを成功させることができたと思っています。また、ウォークラリーや海水浴などの活動をみんなで楽しく活動できたと思っています。また、普段することのない船上での生活や新島のきれいな海での海水浴も楽しかったです。普段、目にする事のない船内見学で普段は入ることのできない場所に入れたり、海洋観測でのプランクトン、カップめんの容器の変化などでもいろいろな事を学ぶことができたと思います。

◆牧 亮哉

事前研修のはじめのときは、班員全員ひとこともしゃべらなかつたのに、今はまわりからうるさいと言われそうなほど話し、仲良くなれたことは本当によかった。洋上フェスティバルの出し物は班長がみんなの意見をまとめてくれて、みんなで協力してできたので、ミスはそこそこあったけれど、楽しめたし、自分たちの納得のいく発表ができたのでよかった。この研修で、特に楽しかったのが、新島のウォークラリーと海水浴と露天風呂で、ウォークラリーのクイズは全問正解し、道は一度も間違えず、8番目に出たのに2番目に青葉会館につくことができ、青葉会館の冷房はガンガンで嬉しかった。船では一度もよわらず、同じ班や同じ部屋の人だけでなくたくさんの人と話したり、一緒に行動したりできたので、楽しい時間を過ごせた。また参加したいと思った。

◆石井 愛莉

洋上フェスティバルでは、自分も楽しめたし、他の人にも楽しんでもらったのでよかった。縦のつながりと横のつながりも大切にできた。時間を意識して、行動できたり、先を考えて準備ができたと思う。船の事に興味が無かったけど今回の体験で少し持つことができた。班としてめりはりをもう少しつけられるようにしたい。ウォークラリーは、2番目にゴールに着いて驚いた。海がきれいだった。2日目の夜は、女子部屋に男子が入ってきて、気持ち悪いし怖かった。カーテンまで開ける変態男子もいて、気持ち悪いしかなかった。次から入ってこられないようにしてほしい。食事の準備、片付け、洋上フェスティバルでは、班の人と協力できた。家族や友達と、民宿に泊ってみたい。湯の浜温泉のながめがきれいだったけど、シャワーか温泉のどちらかしかできないのが残念だったけど楽しかった。

◆梅橋 千紘

洋上体験研修で、最初のほうはお互い緊張してあまり話せなくて笑顔が少なかったけど2日目、3日目と時がたつにつれて学校の友達のようにたくさん話して笑顔がいっぱいになりました。ウォークラリーでは道を間違えずに問題を全問正解することができました。海水浴では大磯とは違い、すき通るようにきれいでした。海水はしょっぱくて「海ってこんななんなんだな～」と思いました。また来年もきたいです。

◆清田 侑希

私は洋上体験研修に参加して、新島や望星丸のことについて知ることができました。1日目は、望星丸に乗るのが初めてで、想像以上にゆれて、気持ちが悪くなってしまいました。船内見学では、見たことの無い物が見れて、良いけいけんになったと思いました。2日目は、朝早く起きられなくて、朝のつどいに遅刻してしまったので、明日は早起きしようと思いました。ウォークラリーでは全問正解できたと、迷うことなくゴールできたので、とても嬉しかったです。海水浴では、おくの方が足が付かないくらい深かったけど、楽しかったです。3日目は海洋観測で、あみでプランクトンを取る様子が見れて、プランクトンや幼魚を取る方法がわかり、とてもおもしろかったです。

◆長谷川 聖南

私は他校生の人との交流でたくさん学ぶことができました。多くの学校の人と交流できて、自分もすごく成長しました。最初は、東中学校の人があまりいなくて不安でしたが、他校の人と話していくうちにおたがいうちとけてきて、不安はまったくなくなりました。そしてプログ



ラムでは、仲間と協力していく物が多く、よりいっそう仲を深めていくことができました。洋上フェスティバルではおしくも賞をとることができませんでしたが、班のふんいきと協力性は1番と言ってもかごんではないと思っています。笑顔がたえず、うるさくて少々怒られることもありましたが、私は楽しく3日間を過ごすことができました。協力してくれたスタッフのみなさんありがとうございました！！

◆波多野 明

洋上フェスティバルの出し物づくりで、みんなで考えどうすれば楽しいものになるのか考えるのが大変でした。私たちの班でやったO×クイズは、洋上体験研修で言われたこと、行った場所、しおりに書いてある内容を中心としたクイズだったので、私たち自身も洋上体験研修で学んだことを思い出すことができ、また、他の班の人達も学んだことを改めて思い出すことができたのではないかと思います。また、ウォークラリーでは班が一体となって地図を読んだりしていました。私たちの班では、クイズの答えを答えるのがとてもはやく、おかげで青葉会館には、2番目に到着することができました。クイズも新島のことのクイズだったので島のことをたくさん理解することができました。船の上で生活するのは最初は大変でしたがしばらくしたら、慣れてきて、よわなくなってきたのが、船に乗っていて分かりました。私たちは仕事はありませんでしたが、この不安定な場所で仕事をしている乗組員さんや、練習生の人たちはすごいと思いました。





【9班】

◎班長

野村 快

○副班長

中川 みのり

〔班 員〕

栗田 亜季

佐藤 空美

菅原 在要

太幡 祐希

◆野村 快

海のすばらしさと怖さを学び、人との距離を学びました。班長という役目をやらせてもらい、良いきっかけになったのですが、班長なのにせきになんかのないことをしてしまったこともあり、すごく悔しいし、自分のみじゅくさもわかりました。洋上体験で色々な知識を学べて、良い体験になりました。

◆中川 みのり

今回参加して、他校の生徒と仲が良くなることは良いことだけれども、仲良くなりすぎてしまうことは、良くないことを学びました。また、チーム内での協力や、思いやりなどこの研修でしか学べないことを学べられたと思います。そして、今回の洋上フェスティバルでは、準備のだんかいかから「人を楽しませること」について考えましたが、あまり良い案が出なくてくせんをしました。「人を楽しませる」ということは簡単そうに聞こえますが、難しいことなんだということを感じ、また、同時に「人を楽しませる」ようにするには、自分自身が楽しまなければ、観てくれている人は楽しんでもくれないということも感じました。私は上に書いたことに加え、洋上体験研修で学んだことを日常生活にいかしていきたいと思います。

◆栗田 亜季

今回この洋上研修に参加し、他校の人達と交流して、「絆」が深まったと思います。9班のみんなとお話して



きて、協力して、笑って。人それぞれの個性があって、約2日18時間くらい、とても楽しかったです。とくに楽しかったのが、洋上フェスティバルの時です。班内会議でしゃべり話をやるつもりだったけど、全然話しがまとまらなくて、それでも最後はさむさが取れなくて笑いが取れたけど、それはそれで楽しかったです。3日目。最後のこの時間を大切にしたいと思います。とてもおもしろい人達がいて、本当に私は幸せでした。

◆佐藤 空美

初めて洋上体験研修に参加して、船にはたくさんの機会があり、色々な人がはたらいている。はたらいている人に話を聞いて、初耳のことがたくさんあって、まだまだ知らない世界がたくさんあるんだと感じた。新島という島があったのも今回の研修で知った。新島村の人々はみんな優しく話しをしてくれていい人たちだと思った。自分は知らない人と接するのがすごくニガテで今回の洋上体験研修で知らない人たちと仲よくなって本当に良い体験をしたなと感じた。人とコミュニケーションを取ることは、これからの未来、大切だと学んだ。そして海にはまだまだ知らない世界があることも学んだ。

◆菅原 在要

僕は、初めて参加しました。初めてで分からないことだらけで、不安でしたが、たくさんの方が声をかけてくれて、楽しい洋上体験になりました。洋上フェスティバルを覚えているときには、昔の新島の様子や、昔から伝えられている話なども知り、その話に関わる場所がウォークラリーのチェックポイントになっていました。欠点の多い班ですが、にぎやかで楽しい班でした。洋上体験は楽しくてためになるところもあるので、また来年も来たいです。

◆太幡 祐希

救命服の付け方、救命ボートの事など色々知りました。救命ボートは、1つ90人で2つあります。それと船の中には、たくさんの部屋があることを知りました。さらに星空観測は、できなかつたけど家で役立ちそうなもの結び方をなども教えてもらいました。新島では、行ったら良いスポットや海、キレイな場所などもわかりました。友だちも作れ、洋上フェスティバルは、とても楽しかったです。水面には、魚もいないだろうと思っていましたが、アミですくって見ると、小さな魚がたくさんいました。まだ実験中ですが、1000mの海にカップラーメンをしずめてどうなるかなど楽しいことや勉強になることがたくさんあったので来て良かったです。





【10班】

◎班長

川辺 美和

○副班長

安藤 彪我

〔班 員〕

有田 蔵人

飯塚 拓

小田 歩海

北邨 萌花

永井 孝征

◆川辺 美和

今回で3回目、最後の洋上研修。前回、前々回での教訓を活かし上手く進行できたと思いきや、まだ新しい発見は多く、“あのときああすればよかった”みたいな反省があるのもまた事実…。でもとにかく「楽しかった!!」の一言に尽きる。去年の友達にも会えたり、新しい友達も出来た。洋上フェスティバルでは3回中初の1位! 本当に、盛り上げてくれた彪我、分かりやすく話してくれた北邨さん、分かりにくい私の説明でも素早く動いてくれた蔵人と永井くん、細かい指摘で色々な事に気づかせてくれた小田さん、大きな動きでカードを見やすくしてくれた飯塚くん。他にもウォークラリーで迷った時に修正したり、急な指示でも動いてくれた皆、本っ当にありがとう!!今までで一番良い班でした!!私の中で一番多くの大切な事を学んだ3日間でした!!めでたしめでたし。

◆安藤 彪我

最初は船に初めて乗るぞとわくわくしていたけど、いざ乗ってみるとよったりしてそんなに思うように行かないんだと学ぶことができた。みんなといっしょに行動してきて、協力し、何かをやりとげた時のたっせいかんを感じる事ができた。この三日間で誰は何が得意なのかという事も知りおたがいに相手の事を知り仲良くなれて良かった。たまに帰りたいたいという気持ちになったりもしたけど仲良くなったみんなともっと遊び、もっと話したりしたいという気持ちもあり、この三日間、楽しく過ごせてよかったんじゃないかなと思う。この三日間、僕達が、がんばってきたから洋上フェスティバルで1位を取る事が出来たんだと思います。だからあのファイルは、この班で協力し、がんばった、努力のあかしだと

思います。この班でよかったなと思います。

◆有田 蔵人

この洋上体験研修をとおして学んだことは、仲間の大切さです。特に仲間の大切さに気づいたことはスタンプで気づきました。友達と協力していろいろ作って、大切な友だちができました。今度からもっと友達を大切にしようと思いました。

◆飯塚 拡

この洋上体験に参加したのは、自分が行きたかったから行ったのではなく、友達にさそわれて「行ってみようかな」と思い、参加しました。最初は、友達とかとしか話すつもりはなかったけど、班の人とかが話しかけてくれて、班の人とも楽しく会話ができて、それにほかの班の人にも声をかけてくれて、楽しくできました。自分がこの洋上体験で学んだことは、色々な人が学年や性別、かんけいなしに話していて驚きました。仲いい友達だけでなく、話したこともない人と仲よく話せるのは、簡単なことではないと思うので、そこはすごくいいなと思いました。初めのころは、あまり楽しくなかったですけど、2日目になると自分でも笑顔が増えたなと思いました。なので、この洋上体験に参加してすごく良かったなと思いました。思い出もたくさんできたとし、できれば来年の洋上体験にも参加したいと思いました。

◆小田 歩海

昼食の準備がとても酔いました。なぜなら配ぜんをしていたので前後にゆらゆらゆれて早くおわってほしいと思いました。湯の浜露天温泉は、短い時間だったのですが、すごく気持ち良かったです。2日目になったらだんだん自分の班にも慣れて友達ができました。買い物は自分の行ったお店が一番こんでいて、ギリギリ家族や友達の分のおみやげが買えました。洋上フェスティバルでは他校の班と知り合い発表できてうれしかったし、このフェスティバル

で1位になれたのが特にです。海水浴はプールに入るのは好きなのですが、海は怖い生き物がたくさんいるというそうそう中々入れませんでした。班長がゆうき



づけてくれて少しふかい所もいけたのでうれしかったです。最終日は10分早めに起きたので良かったなと思います。

◆北邨 萌花

最初は知らない人と同じ班だったりするのがいやだったけど。この3日間でなかよくなれたり、協力できたりしたのがすごくよかったし、楽しかったです。新島の人たちも、ウォークラリー中とかに話しかけてくれたりしてくださっていたので、安心して楽しむことができました。あと、時間とかが少しおくれてしまうことがあったので、これからはちゃんと時間を見て行動したいなと思いました。あとは、おみやげの時間が少し短いなと思いました。室内でも、ちがう班の子たちと、たくさん仲良くなって話せたりできたりし、いろんな中学校のことを知れたので、すごくいい思い出になったなと思いました。洋上フェスティバルも1位になれてよかったです!!

◆永井 孝征

今回の洋上体験研修では、テレビで船から見た映像を見て、自分も乗りたいと思ったが、実際には、かなり船の波がきつく、乗る前には、酔い止め薬を必ず飲まないといけなかったことを知ることができました。また、新島のことがよく分かりました。そして、研修生のみんなとやっと仲良くなってきたのに、もう終わりだなんて、信じられないくらいです。ウォークラリーでは、班のみんなと協力できて楽しかったし、仲良くなれて、話しやすくなりました。またいつか会いたいです。船で生活するのも、おもしろかったです。船はどのような感じなのかよく分かりました。船に酔った時も、大人たちが心配してくれて、とてもうれしかったです。今までありがとうございました。



6 指導主任、指導担当の感想

◆指導主任 相澤 広輔（秦野市教育研究所）

風を切って進む望星丸。甲板から望む夏の空。エメラルドグリーンに輝く海。目に映るすべての景色は、どれも鮮明な色彩をしており、洋上体験研修から1ヶ月経つ今でも、目を閉じるとまぶたにくっきりと浮かんできます。

盛りだくさんの充実したプログラムは、どれも貴重な体験であり、多くの事を学ばせて頂いた研修となりました。その中でも、この研修を支えているものは船上での生活だと思いました。異年齢での集団生活。しおりを見ながら時間を意識しての行動。食事の準備・片付け。スタンプに向けた班内会議。班毎の振り返りの時間等々。集団を大切にできるということは、一人ひとりのメンバーを大切に思う気持ちがないとできないことであるし、だからこそ共に過ごした仲間がいたことが何よりの財産ではないかなと思います。

私自身、市町村を越えて多くのスタッフと知り合うことができ、「貴重な体験」と「知り合えた仲間」が自分自身を大きく成長させてくれたと感謝の気持ちでいっぱいです。「為せば成る何事も」の精神で、失敗を恐れずチャレンジし続ける自分でありたいと洋上研修を体験したことで強く思えるようになりました。最後に、この研修に参加した生徒のみなさんの一生懸命に頑張ろうとする気持ちがなければ、実りある研修にすることはできませんでした。ありがとうございました。



◆1、2班 指導担当 久保 美咲（秦野市立北小学校教諭）

私はこの洋上研修を通して、中学生の“強い活力”を感じました。初めて事前研修で顔を合わせたとき、子どもたちは期待と不安の入り混じった表情を浮かべていました。たった2泊3日で、この溝は埋まるのか不安でしたが、私の不安を吹き飛ばすような、あっという間の3日間でした。

子どもたち同士の「ひさしぶり！」から始まった洋上研修。海や船に関する学習や、食事の準備・片づけ、掃除等を共に行い、時間を重ねるにつれて他校から集まったと思えない絆が生まれていきました。どんなときにも積極的に行動する中学生。自主性も見られ、自分たちで話し合いながら解決していく姿はとても輝いていました。

自然や人との関わりが希薄化する今、中学生にとってこの研修はとても貴重な体験になったことと思います。天候にも恵まれ、新島の自然をたっぷり堪能しながらの研修となり、子どもたちだけでなく私にとってもかけがえのない財産となりました。ありがとうございました。



◆3、4班 指導担当 内藤 和輝（秦野市立鶴巻小学校教諭）

今回の洋上体験研修に参加して印象的だったのは、研修生の熱心な研修態度です。講話での大切な部分はわかりやすくメモをとり、船内の見学では細部までじっくり観察していました。

初めに仲間たちと初めて顔を合わせたときは、緊張した様子で、なかなか自分の意見が言いづらい状況でした。しかし、班の中でひとつの目標に向かって協力していくと、自然と自分の意見が言えるようになっていました。それだけでなく、班という枠を超えて、ほかの研修生徒も仲良く交流する姿が見られました。研修全体を通して、仲間と力を合わせることでしか得られない経験や成果を実感し、助け合うことの大切さを再認識したと思います。また、会場での生活や新島でのウォークラリーなどの貴重な体験が刺激となり、色々な自然や文化に興味を持つきっかけになったと思います。

最後の閉会式では、たくましく成長した姿が見られました。今後も、洋上体験研修で培った力を十分に発揮してほしいです。



◆5、6班 指導担当 田中 萌子（秦野市立洪沢小学校教諭）

事前説明会のときには緊張して様子をうかがっていた研修生。スタンプの発表の頃には、みんな笑顔になっていました。なかなか体験することのできない船の上での生活と、様々な地域から集まっているという環境は、研修生にとっても私にとっても貴重な体験でした。

今回の洋上研修で研修生の力が一番発揮されたと思う場面はスタンプです。最初はなかなか意見が出なかった話し合いも、最後にはどの研修生も前向きに参加することができていました。それは、相手の話を聞こうとする姿勢がどの研修生にもあったからだと思います。短い準備時間の中でも、全員でスタンプを作ることができたということが、この研修で得た大切なことだと思いました。

普段はあまりかかわることのない中学生と過ごせたこと、また、船の上の生活や仕事を知ることができたことは、私の財産になりました。得たことは教員生活に生かしていきたいと思います。ありがとうございました。

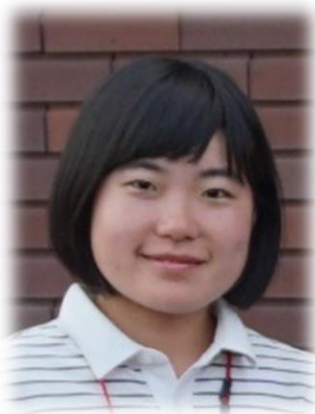


◆7、8班 指導担当 清水 葉月（秦野市立末広小学校教諭）

私は、今回初めて洋上体験研修に参加させていただきました。天候にも恵まれ、船上、洋上ともに様々な体験を通して充実した3日間を過ごすことが出来ました。

事前研修では初対面で緊張からか、話し合いがなかなかスムーズに進まないことがありました。しかし、3日間の研修の中で一緒にご飯を食べたり、ウォークラリーで同じ課題に協力して取り組んだりすることによって段々と会話が増えていきました。また、2日目の夜に行われた洋上フェスティバルに向けて意見を活発に出し合ったり、一生懸命に練習に取り組んだりする姿に研修生の皆さんの頼もしさと成長を感じました。「実はダンスが苦手です…」と言っていた子どもがダンスが上手な子に教えてもらったり、逆に優しく教えたりして自分たちで協力して何かを作り上げていく姿が素晴らしかったです。

この研修で感じたことや学んだことは、これからの生活に何かしらの形で繋がっていくと思います。私自身も多くのことを学ぶことができた研修でした。ありがとうございました。



◆9、10班 指導担当 指導担当 坂井 恒太（秦野市立西小学校教諭）

私は指導担当として、本研修に参加いたしました。普段は小学校1年生の担任なので、関わる事がほとんどない中学生との交流を楽しみにしていました。初めて顔を合わせた事前研修では、秦野市だけでなく他の市町村から参加していることもあり、子どもたちの表情には緊張が見られました。しかし、本研修になると互いに打ち解けようと積極的に関わろうとする姿が見られました。おかげで子どもたちの表情は柔らかく、和やかな雰囲気となっていました。食事の配膳や片づけ、掃除、スタンプなどの班行動の場面では、進んでアイデアを出し合い、より良くしようと工夫する姿に頼もしさを感じました。

過ごした時間はわずかでしたが、子どもたちの成長を間近で見守ることができ、嬉しかったです。この事業に関わられた東海大学や市町村の関係の方々、新島の皆さま、ご家族の皆さま、本当にありがとうございました。



7 運営スタッフ



<運営管理者>
五味田 直史



<運営担当>
石原 豪



<運営担当>
山口 聖子



<運営担当>
松永 尚之



<運営担当>
山口 良平



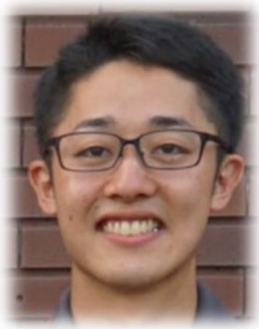
<運営担当>
稲葉 亮三



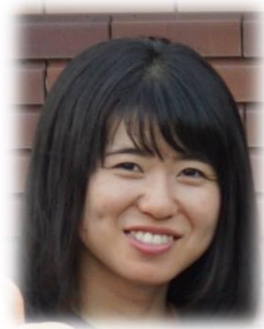
<運営担当>
井上 佑季



<運営担当>
須賀 亜希穂



<運営担当>
大堂 直人



<看護担当>
伊草 晶野



<看護担当>
福住 江里子



東海大学 海洋調査研修船望星丸
上白河 信義 船長



東海大学 海洋調査研修船望星丸
住吉 雅貴 事務長



東海大学 海洋調査研修船望星丸
乗組員の皆さん



＜実行委員長兼統括責任者＞
逢坂 伸一

8 アンケート結果 ※複数回答も含まれています。意見等は一部抜粋です。

(1) 研修生へのアンケート（回答 72 人／72 人）

Q1 この洋上体験研修を知ったきっかけは何ですか

1. チラシ 29人 (39.7%)	2. ホームページ 0人 (0.0%)	3. 公民館等のポスター 1人 (1.4%)
4. 市町村の広報誌 4人 (5.5%)	5. タウンニュース 0人 (0.0%)	6. 保護者から 12人 (16.4%)
7. 昨年の参加者から 6人 (12.3%)	8. その他 18人 (24.7%)	

※「8. その他」の意見 ・昨年参加 ・兄妹、友達から ・学校のプリント

Q2 研修に参加した理由は何ですか

1. 船に乗りたかった 13人 (17.8%)	2. 新島へ 行ってみたかった 8人 (11.0%)	3. 他校生との交流を したかった 13人 (17.8%)
4. 自分が成長できると 思ったから 5人 (6.8%)	5. 友達に参加するから 14人 (19.2%)	6. 親や先生から 勧められたから 8人 (11.0%)
7. その他 12人 (16.4%)	○無回答 0人 (0.0%)	

※「5. その他」の意見 ・以前参加して楽しかったから ・海が好きだから
・別の学校の人達と友達になって話してみたかったから

Q3 事前研修の時期はいつが良いですか

1. 平日 16人 (22.2%)	2. 土・日曜又は祝日 35人 (48.6%)	3. いつでも良い 21人 (29.2%)
----------------------	----------------------------	--------------------------

※「1. 平日」の意見 ・土日は部活の大会や習い事など予定がある

※「2. 土・日曜又は祝日」の意見 ・平日は部活や習い事が無い ・学校が無い

※「3. いつでも良い」の意見 ・夏休みなのでいつでもよい

・1でも2でも部活があるから

Q4 本研修の時期はいつが良いですか

1. 7月下旬 43人 (59.7%)	2. 8月上旬 18人 (25.0%)	3. 8月中旬 10人 (13.9%)
○無回答 1人 (1.4%)		

※「1. 7月下旬」の意見 ・台風が少ない ・早く行きたい ・8月は暑いから
・お盆休みに重ならない ・8月は宿題や行事がある

※「2. 8月上旬」の意見 ・部活が少ない ・お盆休み前だから
・7月中に宿題を終わらせたいから

※「3. 8月中旬」の意見 ・あまり暑すぎない ・部活の大会とかぶるから

Q5 本研修の2泊3日という期間はどうか

1. 長い	2. ちょうどよい	3. 短い
9人 (12.5%)	44人 (61.1%)	19人 (26.4%)

Q6 本研修で一番楽しかったことは何ですか

1. 船上生活	2. 他校生との交流	3. 星空観察
14人 (19.4%)	25人 (34.7%)	0人 (0%)
4. ウォークラリー	5. 海水浴	6. 洋上フェスティバル
1人 (1.4%)	14人 (19.4%)	16人 (22.2%)
7. 海洋観測	8. その他	
0人 (0%)	2人 (2.8%)	

※「8. その他」の意見 ・睡眠時間 ・夕食中の雑談

Q7 本研修期間中、つらかったことはありますか（プログラム内容、船酔いなど）

1. ない	2. ある
37人 (51.4%)	35人 (48.6%)

※「2. ある」の意見 ・船酔い ・スタンプの打ち合わせ ・暑い
・シャワー時間が短い ・朝が早い ・休憩が少ない

Q8 研修に参加して、自分自身が変わったと思いますか

1. 変わらない	2. 変わった
32人 (44.4%)	40人 (55.6%)

※「2. 変わった」の意見 ・他校生とも積極的に話しかけられるようになった
・時間を気にするようになった
・自分についてもっと知ることができた
・船に興味を持った

Q9 他の学校や他の市町村の中学生との交流はどうでしたか

1. 良かった	2. 嫌だった	3. どちらでもない
68人 (94.4%)	0人 (0.0%)	4人 (5.6%)

Q10 チャンスがあれば、また洋上体験研修に参加したいですか

1. 参加したい	2. 参加したくない	3. わからない
46人 (63.9%)	2人 (2.8%)	24人 (33.3%)

Q11 今回のプログラム以外にやってみたいこと、知りたいことはありますか

※自由意見 ・釣り ・新島について（歴史・生物）
・ネックレス作り ・サーフィン ・シュノーケリング
・サイクリング ・スイカ割り ・水族館
・乗組員のお手伝いをしてみたい ・トランプ、ビンゴ大会

(2) 研修生の保護者へのアンケート（回答 68 人／72 人）

Q1 この事業を知ったきっかけは何ですか

1. 子どもから 22人 (31.9%)	2. 友達の保護者から 8人 (11.6%)	3. 昨年の参加者（の保護者）から 5人 (7.2%)
4. 学校（先生）から 19人 (27.5%)	5. PTA 総会のチラシ 3人 (4.3%)	6. ホームページから 0人 (0.0%)
7. 公民館等のポスター 0人 (0.0%)	8. 市町村の広報誌 5人 (7.2%)	9. タウンニュース等 タウン誌 1人 (1.4%)
10. その他 6人 (8.7%)		

※「10. その他」の意見 ・兄弟が参加 ・昨年度も参加 ・職場の方から

Q2 この研修に申し込んだ理由は何ですか

1. 参加者本人の希望 45人 (66.2%)	2. 保護者から勧めた 17人 (25.0%)	3. その他 6人 (8.8%)
----------------------------	----------------------------	---------------------

※「3. その他」の意見 ・友人のすすめ ・祖父のすすめ

Q3 参加者負担金（18,000円）はどうですか

1. 相応だと思う 47人 (69.1%)	2. 高い 3人 (4.4%)	3. 安い 18人 (26.5%)
--------------------------	--------------------	----------------------

※「1. 相応だと思う」の意見 ・参加費以外の出費も考えると、相応
・経験する内容から考えると、満足
・これ以上の金額だと参加を考えてしまう

※「2. 高い」の意見 ・兄妹で参加するとなると、かなりの出費になる

※「3. 安い」の意見 ・2泊3日の船旅としては安いと思う
・同じ研修内容で民間業者と比べると安い
・往復のバス、温泉、食事もついてこの金額は安いと思う

Q4 事前研修の時期はいつが良いですか

1. 平日 13人 (19.1%)	2. 土・日曜又は祝日 29人 (42.6%)	3. いつでも良い 24人 (35.3%)
○無回答 2人 (2.9%)		

※「1. 平日」の意見 ・土日は部活、習い事と重なるため
・平日だと学校と同じ感覚で出席できる

※「2. 土・日曜又は祝日」の意見 ・部活や習い事がある平日よりも時間を確保しやすい

※「3. いつでも良い」の意見 ・どちらにしても部活等があり、都合をつけて参加するため

Q5 本研修の時期はいつが良いですか

1. 7月下旬 40人 (57.1%)	2. 8月上旬 23人 (32.9%)	3. 8月中旬 5人 (7.1%)
○無回答 2人 (2.9%)		

- ※「1. 7月下旬」の意見
 - ・台風が少ない
 - ・夏休みの計画を立てやすい
 - ・お盆休み（帰省）と重ならない
 - ・生活リズム、体調の面で整えやすい
- ※「2. 8月上旬」の意見
 - ・7月は部活の大きな大会と重なる
 - ・宿題と台風の心配が少ない
- ※「3. 8月中旬」の意見
 - ・お盆はどこも混雑していて外へ連れて行けないので
 - ・習い事が休みのため参加しやすい

Q6 この研修は、台風などの天候によって目的地新島に渡航できない場合、今回のように代替スケジュールを実施しています。この対応について、どう考えますか。

1. 新島への渡航ができないのであれば、中止すべき 8人 (11.8%)	2. 今回のように代替スケジュールで実施すべき 49人 (72.1%)
3. どちらともいえない 10人 (14.7%)	4. その他 1人 (1.5%)

- ※「1. 新島への渡航ができないのであれば、中止すべき」の意見
 - ・代替スケジュールでは本来体験したい事と異なり、意味がないと思う
 - ・安全第一を考え、無理をしないほうがいいと思う
- ※「2. 代替スケジュールで実施すべき」の意見
 - ・他の市町村の子や同じ学校の子以外の子との交流という目的は果たせるので
 - ・当初の予定から変更になってしまっても、そういう場合もあるのだと状況を受け入れ、気持ちを切り替えて別スケジュールに取り組むこと、臨機応変に対応することを学べる機会になると思います
 - ・よほどの荒天でなければ、その日を研修用に空けてあるので新島に渡航できなければ代替スケジュールで研修して欲しいと思う
- ※「3. どちらともいえない」の意見
 - ・やはり、新島への渡航が1番よいので代替スケジュールになってしまうのは残念だが、中止もかわいそうだと思うから
 - ・中止は嫌だけど、船上だけの研修は物足りないかと思う
- ※「4. その他」の意見
 - ・新島への渡航が出来る事を最優先と考えるため、日程を延期すべき

Q7 他の市町村の中学生と交流したことについて

1. 良かった 64人 (94.1%)	2. 良くなかった 0人 (0.0%)	3. どちらでもない 3人 (4.4%)
○無回答 1人 (1.5%)		

※「1. 良かった」の意見

- ・全く知らない子とも交流を通じてお友達になれたので、いい経験になりました
- ・人との交わり方、接し方が身に付きとても良い
- ・グループに同じ学校の子がいないので、コミュニケーションが積極的にとれ、仲良くなる事は子供の自信にもつながると思います
- ・少人数の学校に通っているなので、良い経験ができたと思う

※「3. どちらでもない」の意見

- ・班内に同学年同姓で他の市町村の子がいなくて交流できなかったから

Q8 この研修に参加して、お子さんの態度や考え方が変わったと思いますか

1. 変わった 27人 (39.7%)	2. 変わらない 40人 (58.8%)	○無回答 1人 (1.5%)
------------------------	-------------------------	-------------------

※「1. 変わった」の意見

- ・自分に自信を持つことができたように見えます
- ・他市町村の友達ができ、視野が広がったように感じます
- ・今年はグループの班長をやらせてもらって、メンバーをまとめたりする難しさが良く分かったとのことです
- ・自立し積極的になった ・海洋系の好奇心がついた

※「2. 変わらない」の意見

- ・帰ってきてすぐに変わったところはないが、この経験がこの先、活かされていくと思う
- ・初めての参加で、知らない人との交流がうまくとれなかった
- ・家ではいつも通りですが、素直に手伝いをしてくれる様になりました

Q9 お子さんをこの研修に参加させて良かったと思いますか

1. 良かった 63人 (92.6%)	2. 良くなかった 0人 (0.0%)	3. どちらでもない 3人 (4.4%)
○無回答 2人 (2.9%)		

※「1. 良かった」の意見

- ・同世代の集団生活で得られた体験は貴重に思います。船での宿泊もなかなか出来ないことで良い思い出になったのではないかと考えています
- ・親では指導できないことを、同年代の仲間と体験できたことは、大きな財産だと

思います

- 学校外の中学生の皆さんとの交流を経て、人の意見に耳を傾けたり、一緒に力を合わせるなど良い経験が出来ました
- 天候、スタッツ、生活面でも満足のいく活動ができたと喜んでいました

※「3. どちらでもない」の意見

- 船酔いでずっと気持ち悪かったとのことなので
- 帰宅後、話を聞いても、あまり話してくれなかった

Q10 自由意見

※本事業の継続を望むご意見や、スタッフへの心温まるお言葉を多数いただきましたが、一部割愛させていただきました。ありがとうございました。

- ◆ 誰も知らない環境に入ってコミュニケーション能力を高めたいという本人の希望で参加させていただきました。本人いわく、勉強はいつか AI がすべてやってくれる時代がきても、コミュニケーションだけは AI にはできないので、この能力を高めたいそうです。同世代の人達との交流で色々と学べてとても良い経験ができたようです。中学校生活最後の年に貴重な経験ができた事を感謝いたします。
- ◆ 親とでは体験できない事、お友達と協力しあえるなど、素晴らしいと思う。今後も継続してもらいたいと思います。
- ◆ 船の上での仕事に興味が出るかと思いましたが、そんな急に変わるものではないですヨネ…。はじめは友達にさそわれビミューな感じでしたが、とても楽しかったようで良い経験でした。ありがとうございました。
- ◆ 他の中学校の人たちとの交流を通して、世界が広がったと思います。
- ◆ 出発時、子供たちの待機場所について考慮して欲しいです。市役所の駐車場がかなり高温になっていて、その中で長い時間そこで話を聞いていました。大人たちは日陰に入っていたので感じなかったかもしれませんが、過酷な状況でした。今後の事業継続について。是非続けていただきたいです。家族ではできない体験をさせていただけるので、とてもありがたいと考えています。企画、運営をしていただいているスタッフのみなさまには大変なご足労とは思いますが、沢山の子どもたちに貴重な体験をしてもらいたいと思いますので、継続をよろしく願いいたします。
- ◆ 学校のお友達に誘われて、初めて参加させていただきました。普段から人見知りをしないタイプなので、他校・他学年の方達ともすごく仲良くなって帰ってきました。こういった行事に参加するのは初めてだったので、不安ではあったと思いますが、本当に楽しんで帰ってきたので、参加して良かったと思います。船に乗って、船に宿泊する貴重な経験をさせていただいて、「本当に楽しかった」と言っていました。今後も継続して他の市町村との交流の輪を広げて行って欲しいです。ありがとうございました。
- ◆ 知り合いから「船酔いするけどそれ以上に楽しいから行かせな」と言われ、申し込みました。2泊知らないお友達と過ごすことはいい事も嫌なこともあったと思います。地面に立てる喜び、家のベッドで寝られる喜び、家でゆっくり食事できる喜びを味わえたようです。日常に感謝できた事が最大の成果だと思います。関係者の皆様方、大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。
- ◆ 昨年とても楽しかったと、夏休み中語っていたので今年も迷わず参加を決めました。水

庄の実験などが昨年とほぼ同じだったことや、昨年より海が静かでスリルが無かったためか、1回目程の感動は無かったようでした。昨年、「来年も行こうね」と話していた方のほとんどとは再会がかなわず、それも一つの経験だと思えました。部活動との絡みで来年は参加できるかは分かりませんが、この感動を多くの方に感じていただきたいので、今後も継続していただきたいです。

- ◆ 普段からマイペースな為、親元を離れて、初めての仲間に囲まれ自主的に行動できるようになってくれたらと思い参加させました。実際どうであったのか分かりませんが、きれいな海や景色、新しい友達、船上での生活、何もかもが新鮮でとても貴重な経験が出来ました。ありがとうございました。
- ◆ 昨年度に続き2年目の参加です。今年度は天気にも恵まれ、新島で充分あそべたようです。残念ながら船酔いがひどかったようですが、楽しい思い出がたくさん作れたようです。普段は親に頼ってばかりですが、今回の研修で出会った友人との生活から何かを得られたらと思い参加させました。家へ帰ってきたら元のままではありましたが、きっと何かが変わっていると思っています。今後もぜひこのような研修を続けてもらい、今回の仲間とまた集まる機会があれば良いと思います。
- ◆ お世話になりました。
- ◆ 社会に出たら、仕事は仲の良い友達とすることは少なく、実際は、何かのめぐり合いで、見知らぬ者同士が会話や交流を重ねてチームとなり、一つの目的に向かって物事を創り上げ達成するものだと思うので、近い人だけの依存心はなるべく早く脱出してほしいと思って参加させました。何かしら本人の中で感じたことが、今後の人生で発揮されることを願っています。
追伸：この様な素晴らしい事業を企画して頂き、誠に有難うございました。感謝申し上げます。
- ◆ 以前にくらべ、積極性がなくなってきた気がしていたので、学校以外の環境で自分自身をそのまま出せばいいなと思い参加しました。どうしてもみなと協力することに対してあまり気が進まない事が多いらしく、少しでも協力的になってくれたらと思ってました。帰宅後もあまり多くを語ってはくれなかったけど、今の時期の男の子だから仕方ないのかと思ってます。この先に、今回の経験が本人にとって良かったと思えるものであればいいなと思います。今回お世話になった関係各位の皆様、ありがとうございました。
- ◆ 海が好きで、乗船体験や、海洋観測など、毎年とても楽しみに中1～中3まで3回参加させて頂きました。最後の今年は天気にも恵まれ、3日間の新島を心から楽しんだようです。人見知りだったけれど、ここでは自分から積極的に話しかけ、友人作りも頑張れるようになり、成長したことを感じました。将来は海洋生物や海のことを学びたいようなので、将来につながる貴重な体験をさせてもらえて、本当に良かったです。今までどうもありがとうございました。
- ◆ 人見知りの性格なので、積極的に知らない人と関われる様にとの願いと、本人の希望もあり、参加しました。中1で初参加の為、学年が違う人との交流がうまくとりづらかったようで、同じ部屋の人との交流が全く無く、それぞれがカーテンで仕切られたベッドにこもってしまっていたそうです。部屋で過ごす時のルールも決まっていないと駄目なのかなあと少し残念に思いました。
- ◆ 洋上体験という、普段なかなかできない体験ができて、他の中学校の生徒さん達と交流できて良い刺激になるだろうという思いで参加を薦めました。まさかの班長になってしま

い親の私も役目をこなせるか少し心配でしたが、普段味わえない緊張感を味わえたと思います。それを含めて、様々な人たちとの交流、洋上での生活体験、本当に良い刺激となったと、帰ってきて疲れながらも満面の笑みを見せてくれた時に、私も実感することができました。お世話して下さった方々に感謝致します。ありがとうございました。

- ◆ 家庭では、なかなか経験できないことなので、初めて体験することにワクワクしていたと思います。友達も出来た様で夏休みの良い思い出となった様です。ホームページでの写真でも楽しさが伝わって来ました。真夏の暑い中、大変だったと思います。ありがとうございました。
- ◆ 2回目の参加になります。今年は天気も良く、楽しくすごせたようです。船上で宿泊したり、他校の子と交流するなど、なかなかできない経験がたくさん出来て、良かったと思います。今年は酔い止めをたくさん持って行ったので、体調も良く過ごすことができたようです。我が家は今回で洋上研修への参加は最後になりますが、未来の中学生たちにも他ではできない体験が出来る機会を続けていってもらえたら良いなと思います。
- ◆ もう少し、学校側と協力して周知されると良いと思います。実際の研修は、人見知りな性格から初めは不安がありましたが、3日間一緒に過ごした事で、絆が深まったようで、とても楽しかったと話していました。貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。
- ◆ 中学生の夏休みは部活が中心となるので、いつもと違う環境で新しい仲間と出会うことは、良い経験になるのではと思い参加を決めました。班での行動や、洋上フェスティバルの準備、発表など、同じ目的で動くことで相手を知ることができるのは市での事業のおかげ（先生の引率など）なのかなと思います。準備や同行などお気遣い頂くことが多く、大変かと思いますが、今後もぜひ継続していただけたらと思います。今回は大変お世話になりました。ありがとうございました。
- ◆ 家族ではなかなか行けない場所なので行かせたいと親も思いました。内容は上の子も行った事があったので私も分かっていたのですが、一緒に誘った友達が研修会の後キャンセルしたのは残念でした。JAキャンプなどと同じに考えていた様です。今後も続けて頂けたらと思います。
- ◆ 今回、貴重な体験をさせていただきありがとうございました。仲の良い友達数名で申し込みをし、一緒に活動しようと考えていたようで、班が分かれたことで辞退してしまう友達もいました。研修のねらいからも知らない人同士で活動することは意義のあることだと思うので、そうした内容を事前に理解した上で申し込みができることよかったです。とても充実した内容の研修だと思うので、今後もぜひ継続していただけたらと思います。
- ◆ 家族だけでは体験できないことも経験できると思い、参加させました。近くの海とは違い、きれいな海での海水浴はとても楽しかったようです。初めての船の旅で、船酔いや、船室での宿泊に心配もありましたが、体調が悪くなるようなこともなかったようで安心しました。ただ、歯をみがく場所がわからず、一度もみがかずにいたようで驚きました。
- ◆ 自分から参加したいと言ってきたので、準備など一切手伝わないで参加させました。もう中学生なので、自分の行動や準備に責任を持ってほしいと思いました。帯同して下さった方々には大変お世話になりました。ありがとうございました。男の子なのであまり話をしてくれませんが、「楽しかった」と言っていました。とてもいい体験、思い出になった事と思います。
- ◆ 昨年に引き続き、今年度の研修も大変お世話になりました。また、他校の中学生との交

流や望星丸での生活、その他の研修など、参加しなければおそらく生涯体験出来ないような貴重な体験をたくさんさせて頂き、本当に感謝しております。ありがとうございました。この先社会に出た時に、ほぼ初対面の人達との関わる上で、今回の経験（話す、理解し合う、一緒に協力して何かをやる等）がきっと役立つことと思います。不安そうな顔で出発したのに、日焼けして笑顔で帰ってきた姿がとても嬉しく感じました。本当にありがとうございました。

- ◆ 限られた輪の中（学校や家族）でしか外泊したことがなく、初めて会う人達と3日間という期間うまく過ごせるか。普段アウトドアな外泊（キャンプなど）をしないので船上という変わった場所で泊まることができるかを期待していました。参加自体はお友達と申し込みましたし、集まった中に同じ小学校だった子もいたので完全に1人ではなかったが、新たな知り合いもできて、発見もあり、本人が楽しかったというので結果良かったと思います。天候に左右される研修は（特に海は）なかなか思う通りにいかない場合もあると思うので、難しいと思いますが、とても貴重な体験なので、今後も継続してほしいです。3日間お世話になりました。ありがとうございました。
- ◆ 研修にご尽力くださいました皆様ありがとうございました。初めての船上生活、新しい友達との出会いなど、この研修を経て得たものがたくさんあったようです。現時点で、というよりは、今後高校生、大学生、社会人と成長していくにつれ、経験が財産となっていくと思います。親としても、中学生の今参加させることができてよかったと思います。
- ◆ 船の中で仕事をしている人（例えば海上保安に従事している方等）もいるので、その一部でも体験させられたらと期待していましたが、実際は朝の早起きがつらかったという感想にしかいたらなかった。事前準備は大変だと思いますが、今後もぜひ継続してほしいと願っています。
- ◆ 他の中学生、学年もさまざまな子と交流が持てて、彼女なりに、いろいろと吸収できたのではないかと思う。小学生も参加できる洋上体験も企画してほしい。
- ◆ 班別に決めたオリエンテーションや、カップ麺の容器を使った実験等は楽しめた様です。元々団体行動というか、時間に規律を持って行動するのが苦手なので、そういう面を初めての顔ぶれの中で多少気にした行動ができるか、改善されるのか等見てみたくて申し込んだのですが、一回やそこらで治るわけないですね。事業自体は子供達の交流という意味合いでは、良い経験をしたと思うので今後も続けて行っていったらいいのではないかと思います。
- ◆ 毎年、準備ばかり気にして親子共にすっかり忘れていたのですが、帰ってくると「陸酔い」の存在に気付きます。帰ってきてから3日間は気持ち悪いらしいのですが船酔いに強くてもまさか陸で…家のスケジュールはゆとりを持って立てておくべき、と思いました。
- ◆ 中3の受験の時に参加はどうかと不安でしたが、勉強が煮詰まっている週でしたので、気晴らしにもなったようです。帰ってきたらまた勉強を頑張るようになりました。とても積極的に活動したようで、たくさん話してくれました。今後も継続して、秦野市内の高校生も参加できたらいいなと思います。ありがとうございました。
- ◆ 友達と話し、自然の大切さや、自然の中で学べる事が今は大切になってきていると感じています。今後も自然と、自然に遊び、学べる体験があれば参加希望です。
- ◆ この度はありがとうございました。大変お世話になりました。貴重な経験をさせて頂き、本人も非常に喜んでおりました。帰宅してからたくさんの経験談を楽しそうに話してくれ

ました。一つ残念なのが、初日、船酔いをしてしまい昼食を食べられなかった事のようにです。(笑) 来年も都合が合えば参加させて頂きたいです。

- ◆ 仲の良い友達に誘われ、最初はあまり乗り気ではなかった様子でしたが、事前研修へ行き自分の役が決まると張り切って新島の事を調べたり、初めて会った子たちと協力して研修に参加する事ができたようです。船の中での出来事や新島での魚の目撃談を目をかがやかせ楽しそうに話す子供を見て参加させて良かったと思いました。普段は体験できないこの事業を今後もつづけてほしいと思います。
- ◆ 自分に今何が出来るのか、出来るけど任せようとか、その伝え方がむずかしかったと思います。ラインでのやりとりしかわからないのですが、相手の気持ちも考えたやりとりができ、良かったと思います。
- ◆ 体験中の様子が分かる写真や動画をデータでいただけるとうれしい。
- ◆ 上の兄妹が望星丸で渡航したことが有り、その時の話を聞いていたこともあってか本人興味を持っていた様で、中1の時に「私も行ってみたい」と言うので、普段なかなか体験することの出来ない船での協同生活、外洋の荒波、島独自の雰囲気や味あわせたく参加させたのがきっかけで3年間参加させていただきました。船上での満天の星空観察に感激し、水圧実験や船長さんが使用する遠くまで見える双眼鏡に驚き、船員の方々の普段聞けないお話にワクワクしたり、ウォークラリーでは軽石のように軽い抗火石が家の壁や外壁に使用されていることに風で飛ばされないのか心配してみたり、その時その場で色々と思うところが有った様です。洋上フェスもその年によってメンツが違うので出し物もその年によって違うのも楽しかったようですが、事前の話し合いや準備の時間がもっと有れば、違った内容や中身の濃い出し物が出来ると思うのになとも言ってました。事前研修に関してはただ顔合わせするものではなくもう一日増やすなどして、子供たちの交流を密にすると共に、仲間意識や協同作業の意識を考えさせるきっかけ作りにあてても良いのではないかと思います。3年間ありがとうございました。
- ◆ WEBで活動の様子が確認できて良かった。
- ◆ 水着が干せたのかななどの情報が欲しかった。
- ◆ 夏は暑いのが嫌でいつもクーラーをかけた家でゲームばかりしていたので、この研修に参加して親がいない中、他の学校の中学生と色々な体験をして欲しく申し込みました。船酔いをして始めは楽しめなかったみたいですが、デッキでのご飯や温泉は楽しく新島の海のきれいさには感動していました。ありがとうございました。
- ◆ 今回2回目の参加です。前回同様、本人希望で参加しましたが、親としても大賛成でした。他校の友達とかかわり協力して活動し、いろいろな体験をして思い出になれば良いなと思っていました。本人も行く前からとても楽しみにしていて、帰ってくるなり大満足な表情でした。貴重な体験ができる事、大変うれしく思います。今後もぜひ継続して頂き、妹(小2)の時にも参加したいと思います。ありがとうございました。
- ◆ かなり心配でしたが、良い経験になってくれればと思い参加させる事にしました。普段とは違う生活や交流など刺激を受けて何か成長出来ればと思いました。
- ◆ 2回目の参加ですがスケジュールがほぼ去年と一緒だったようで、何か1つでも新しいプログラムが入るといいのかなと思います。秦野市の知り合いに声をかけた所、ほぼ同じ日程で韓国への語学研修(イベント名はわかりませんが友好都市の交流事業のようです)

があり、そちらを希望するので参加できないと言われました。対象がかぶっているようなので、双方のイベントの検討してみてください。日程調整ができれば、参加できる人も増えるのかなと思います。

- ◆ 海洋研修を通じてチームワークを学べ、グループ活動により互いの理解を深めイベントの出し物も目標を持って一丸となって結束も強くなったと存じます。女子校に通っているのも他の市町村中学生との交流、情報交換も刺激になったようです。初めての船での宿泊は船の仕組み、船の仕事内容を体験でき、家ではロープの結びなどを教えてくれました。積極的になったことが良かったです。この経験は今後役に立ちます。最後の中学生の夏休みの素敵な思い出となりました大変お世話になりました。
- ◆ 船に泊まることは私もしたことがない体験です。なかなか連れて行ってあげることも出来ないのも、洋上体験研修に参加出来て良かったです。部活の試合があって参加できないお友達がたくさんいました。なかなか難しいとは思いますが、部活とかぶらないスケジュールだと参加が増えると思います。
- ◆ 船上での生活ではルールを守りコミュニケーションをとっていかないと危険があったりする。また日頃の生活とは違い不便な事もある。自分の事は自分ですという自立への体験も出来たのではないかな。今は変わらない態度かもしれないが、今後の成長へのいい経験だと思う。ぜひ継続してほしいと思います。ありがとうございました。
- ◆ 事前研修や当日に、わざわざ秦野市まで送っていかなくても、二宮町で送迎していただいていた助かりました。今回、海洋観測でカップ麺の空き容器が小さくなった事が、一番印象に残っているようです。いい思い出ができて良かったです。ありがとうございます。
- ◆ 昨年参加した時に仲良くなった子と面会できて喜んでいました。帰ってきてからも、他校の子たちと遊ぶ約束をしたりしています。室長になり責任感を持って参加していたように感じます。町外の子と知り合え、普段かかわることのない大人の方たちとの交流で大きく成長したと思います。今年もつづけていってほしいです。お世話になりました。
- ◆ 人との出会いが人間を成長させてくれます。地域をこえた交流であれば、さらに世界が広がります。ましてや、船上生活という貴重な体験までできて、この地区に転入（5年前）してきて良かったと心から思っています。本当にありがとうございました。そして、お疲れ様でした。
- ◆ 同校からの参加の友人がいなくて少し不安を感じながらも、本人の意志で申し込みをしました。結果、お天気にも恵まれ、他の市町村の子供達とも仲良く・楽しく過ごせた様子で、「楽しかった」と笑顔で帰って来ました。初の船旅で、初めて会う人達の中での集団生活は、コミュニケーション力や協調性など、人として必ず為になった事と思っております。家庭生活の中では、体験できない他人との交流は、現代の中においてとても大切な事だと思います。自ら参加を決めた我が子に成長を感じた夏になりました。海がとても美しく、海でもっと時間が欲しかったと言っておりました。ありがとうございました。
- ◆ 自分から行きたいと言ってくれることがあまりないので今回やりたいと言われたので参加させました。参加させて良かったです。親としては中3ではなく中1・中2で行きたいと言ってほしかったですが…とてもいい経験なのでこれからも続けてほしいです。
- ◆ 船旅は中々出来ないのも良い経験になったと思います。また、小さな学校の生徒の少ない環境なので、交流にもなりました。2泊3日大変お世話になりました。送り出す時は安全が何より心配ですが無事に過ごす事ができ感謝です。ありがとうございました。

- ◆ 募集の時に兄弟は行けないと書いて欲しかったです。うちは年子なので2人とも応募しました。下の子はどちらかしか行けないと言われすごく落込んでいました。事前にわかっていたら違ったと思います。あと、甥っ子もいるのですが学習室に通っている1年生は行けないとのこと。こちら事前にも教えていただくと子供へのフォローもできたと思います。みんな毎年とても楽しみにしているのでよろしくお願いします。
- ◆ 研修から帰ってきてすぐに何か変化があったわけではないが、楽しかったことも大変だったことも色々話していた中で何か学ぶところがあった様子がうかがえた。この先、活かされていくのだと思う。小さい頃からずっとメンバーが変わらない地域に住んでいるので学年も超えて様々な人と交流できることを期待し期待通りの交流ができたようだった。企画・運営の大変な研修だとは思いますが、今後も続けてほしいです。どうもありがとうございました。
- ◆ 小学校1年から中学3年まで同じメンバーで9年間を過ごす中、違う中学生との交流ができ、将来の役にたった事と思います。誰とでも付き合えることが本人の成長になる事を願います。洋上体験に参加できて良かったと思います。ありがとうございました。
- ◆ 子供が自分で興味をもって参加していたので、本人に全てを任せていた。準備から出発、帰宅まで自分で管理していて成長を感じました。二泊三日の体験もとても楽しかったようで、初めての場所や人にもすぐになれて交流をもてたことが良かったと思います。清川村のいつもと同じメンバーだけで幼小中と過ごしてきているので、他の中学校の色々な性格の子供達にも負けずに、自分の意思をしっかり伝えたり協力して仲良くなれた経験は自信にもつながると思いました。中学校の先生が送ってくれたり、役場の方がきさくに話しかけてくれたこともうれしかったと言っていました。ありがとうございました。
- ◆ 普段、中々経験する事ができない船の旅と様々な人との交流、また自然の素晴らしさを体験する事で子供の視野も広がり、今後の人生のプラスになると思い参加させました。素晴らしい経験をした事で、様々な事を感じ取り、考え、子供なりに今後の成長にプラスになるものになったと思います。このような素晴らしい事業を今後も継続して行ってもらいたいです。ありがとうございました。
- ◆ 初めは行く気が本人にはなかったようですが、なかなか体験できる事ではないようすとすめたら、まよいながらも行く事に決めました。積極性があまりないので、今回のこの機会はとてもいいと思っています。他校の子ともすぐに仲良くなれたようで本人もこの体験は一生心に残る経験だったと思います。少しは自分に度胸がやってみようと思う気持ちが持てたのではないかと感じています。

9 資料

◆東海大学 海洋調査研修船「望星丸」概要

1 資格

遠洋、国際航海、旅客船(第一種船)、
(海洋調査練習船)

2 船級

NK:NS*MNS* Ice Class ID
Passenger/Training Ship

3 主な内容

ア	全長	87.98m
イ	垂線間長	75.00m
ウ	幅(型)	12.80m
エ	深さ(上甲板、型)	8.10m
オ	満載喫水	4.80m
カ	国際総トン数	2174 t
キ	登録総トン数	1777 t
ク	燃料油タンク	401m ³
ケ	清水タンク	185m ³
コ	バラストタンク	345m ³
サ	試運転最高速度	19.10ノット
シ	航海速度	17.00ノット



望星丸は、海洋調査・研修公開・航海実習に使用される多目的船です。

海洋・水産調査の機器を備えており、東海大学海洋学部の実習・研究を行うほか、官公庁の調査研究や関係機関との交流事業・海洋イベントの母船としても活躍しています。

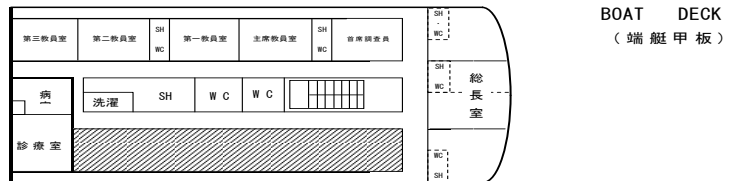
4 乗船定員

ア	乗組員	33名
イ	教員・調査員	17名
ウ	実習研修学生	120名
エ	練習学生	20名
		計 190名(含乗組員)

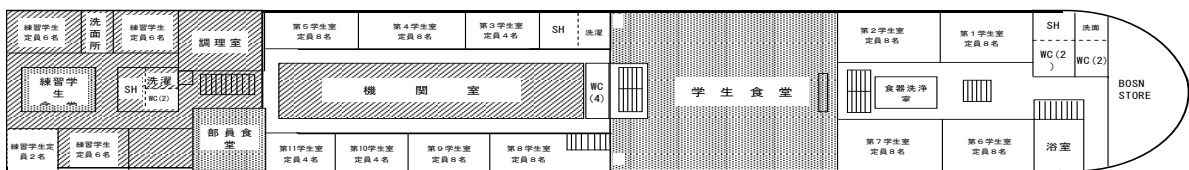
5 安全設備

ア	救命艇	部分閉囲形89名定員	信貴造船	2艇
イ	救命艇	複合型6名定員	東洋ゴム	2艇
ウ	救命筏	膨張式25名定員	三菱電機	4組
エ	CO2固定消火装置(機関室用)		川重防災	1式
オ	スプリンクラー装置		能美防災	1式
カ	火災探知警報装置		能美防災	1式

望星丸の概要
(居室配置図)

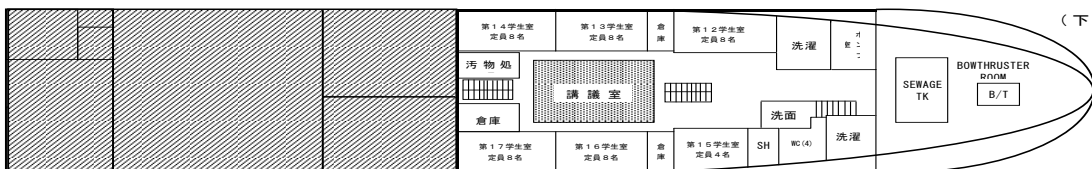


(中甲板)



LOWER DECK

(下層甲板)



WC: トイレ
SH: シャワー

平成31年度広域連携中学生交流洋上体験研修事業実施要項

1 趣旨

この事業の趣旨は次のとおりとする。

- (1) 秦野市、中井町、大井町、松田町、二宮町及び清川村（以下「1市4町1村」という。）が市町村の枠を越えて東海大学の望星丸を用船し、中学生の体験研修事業を連携して行う。
- (2) 1市4町1村の中学生が船上の集団生活を通じて交流と連帯を深めることにより、自主性、協調性及び他人を思いやる心を養う。また、日頃経験できない洋上生活を行うことで心身を鍛える。
- (3) 海洋観測や星空観察、島の歴史や自然にふれあうことにより、自然のすばらしさ、厳しさを体験する。

2 主催等

主催 秦野市・秦野市教育委員会

共催 中井町・中井町教育委員会、大井町・大井町教育委員会、
松田町・松田町教育委員会、二宮町・二宮町教育委員会、
清川村・清川村教育委員会

3 事業の概要

(1) 事前研修

本事業に参加する中学生（以下「研修生」という。）に対して、本事業の趣旨、内容等についての理解を深め、本研修に必要な準備をさせるとともに、研修生相互の交流を図る。

また、団体行動の規律を徹底させ、本研修における各自の役割を分担させる。

・期日 令和元年7月14日（日） 午前9時30分～正午（予定）

・場所 はだのこども館 多目的ホール

(2) 本研修

・期日 令和元年7月31日（水）から8月2日（金）まで2泊3日

・行程 秦野市役所→清水港→新島→清水港→秦野市カルチャーパーク
（秦野市役所～清水港は大型バスを利用）

・使用船舶 学校法人東海大学海洋調査研修船「望星丸」1, 777t

・内容 船上…海洋観測、星空観察、グループワーク、

洋上フェスティバルなど

陸上…海水浴、ウォークラリー、露天風呂など

4 広域連携中学生交流洋上体験研修事業参加者の構成

(1) 広域連携中学生交流洋上体験研修事業参加者は総勢118名とし、構成は次のとおりとする。

1	統括責任者	1名
2	運営管理者	1名
3	指導主任	1名
4	指導担当	5名
5	看護担当	2名
6	運営担当	8名
7	研修生	100名

(2) その他、当事業の実施に当たり実行委員長が必要と認めた者については、定員の範囲内において参加を認める。

5 構成員の任務等

(1) 任務

ア 統括責任者は、参加者を代表するとともに、全体を統括する。

イ 運営管理者は、統括責任者を補佐するとともに看護担当、運営担当を指導し、東海大学など外部との調整を行い、参加者全体を統括する。

ウ 指導主任は、統括責任者と連絡を密にするとともに、指導担当を統括し助言を与える。

エ 指導担当は、指導主任と連絡を密にするとともに、研修プログラムの企画運営及び研修生の指導的役割を担当する。

オ 看護担当は、参加者の保健、衛生について担当する。

カ 運営担当は、運営管理者及び指導主任と連絡を密にするとともに、庶務を担当する。また、指導担当を補助し、研修生の活動を支援する。

キ 研修生は、団体行動のもとに研修に参加し、役割を分担する。

(2) 選任等

ア 統括責任者については、実行委員会が指名するものとする。

イ 研修生の決定は、応募者の中から応募資格の規定に基づき、予め実行委員長が行い、実行委員会の承認を得るものとする。

ウ 研修生として不相当と認められる者については、研修前後を問わず研修生の資格を取り消すものとする。

エ 事業の円滑な実施を図るため、広域連携中学生交流洋上体験研修事業運営委員会を設け、その組織・運営については、実行委員会で決定する。

6 研修生応募資格及び募集方法

(1) 応募資格

- ア 1市4町1村に居住している中学生。
- イ 事前研修を含め、全日程に参加できる人。
- ウ 本研修後、研修レポートを提出できる人。
- エ 主催者の指示、注意を守り、規律ある集団生活ができる人。
- オ 健康状態が良好である人。

(2) 募集方法

公募とし、所定の参加申込書に必要事項を記入し、1市4町1村の広域連携中学生交流洋上体験研修事業の担当課に提出する。

(3) 募集期間

令和元年5月15日（水）から5月31日（金）まで

7 研修生の参加負担金

参加する研修生の負担金は、18,000円とする。

8 その他

この要項に定めるものの他、本事業の実施に関し必要な事項は別に定める。

附 則

この要項は、平成31年4月15日から施行し、この事業が終了する日限り、その効力を失う。

平成31年度広域連携中学生交流洋上体験研修事業実行委員会規約

(名称)

第1条 本会は、広域連携中学生交流洋上体験研修事業実行委員会と称する。

(目的)

第2条 本会は、広域連携中学生交流洋上体験研修事業実施要項の趣旨に従い、洋上体験研修事業について協議する目的で設置する。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を推進する。

- (1) 事業の企画立案、実施及び評価・反省に関すること。
- (2) 運営委員会の組織・運営等に関すること。
- (3) 目的を達成するための調査・研究に関すること。
- (4) その他、目的達成に必要な事項に関すること。

(構成)

第4条 本会は、秦野市、中井町、大井町、松田町、二宮町及び清川村(以下「1市4町1村」という。)の教育関係者、行政関係職員及び学識経験者9名で構成する。

(役員)

第5条 本会に次の役員を置く。

- (1) 実行委員長 1名
 - (2) 副実行委員長 2名
 - (3) 監査 1名
- 2 役員は、委員の互選とする。
- 3 実行委員長は、本会を代表し、事業の総体的事項を統括する。
- 4 副実行委員長は、実行委員長を補佐し、実行委員長に支障があるときは、その職務を代行する。
- 5 監査は、会計の監査にあたる。

(顧問)

第6条 事業の総合的な企画・運営に関する相談役として顧問を置く。

- 2 顧問は、1市4町1村の教育長とする。

(会議)

第7条 本会は、実行委員長が招集する。

- 2 会議の議長は、実行委員長がこれにあたる。

(事務局)

第8条 本会の事務局は、1市4町1村の生涯学習主管課とする。なお、事務所は秦野市文化スポーツ部生涯学習課内に置く。

- 2 事務局は、実行委員会との連絡調整及び事業推進にあたる。

(その他)

第9条 この規約に定めるもののほか、必要な事項は実行委員会の中で協議して定める。

附 則

この規約は、平成31年4月15日から施行し、この事業が終了する日限り、その効力を失う。

令和元年度広域連携中学生交流洋上体験研修事業実行委員名簿

	団体名	氏名	所属	役職
1	学識経験者	逢坂伸一	東海大学名誉教授、秦野市社会教育委員会議長	実行委員長兼統括責任者
2	P T A 関係者	加藤剛	秦野市P T A連絡協議会会計	監査
3	秦野市教育関係者	川口博人	秦野市立北中学校長	
4	中井町教育関係者	米山伸	中井町立中井中学校長	
5	大井町教育関係者	小林俊哉	大井町立湘光中学校長	
6	松田町教育関係者	川上達夫	松田町立松田中学校長	
7	二宮町教育関係者	松本雅志	二宮町立二宮中学校長	
8	清川村教育関係者	奥脇裕子	清川村立緑中学校長	
9	行政関係職員	佐藤正男	秦野市文化スポーツ部長	

実行委員会顧問

1	秦野市教育委員会教育長	内田賢司
2	中井町教育委員会教育長	岩本明人
3	大井町教育委員会教育長	夏苺一壽
4	松田町教育委員会教育長	浄泉和幸
5	二宮町教育委員会教育長	森英夫
6	清川村教育委員会教育長	山田一夫

事務局

1	秦野市文化スポーツ部生涯学習課	課長 五味田直史、課長代理 石原豪、主任主事 山口聖子 主事 松永尚之
2	中井町教育委員会生涯学習課	主事 三浦隆太
3	大井町教育委員会生涯学習課	主査 稲葉亮三
4	松田町教育委員会教育課	主事 井上佑季
5	二宮町教育委員会生涯学習課	副主幹 須賀亜希穂
6	清川村教育委員会事務局生涯学習課	主事補 大堂直人

平成31年度広域連携中学生交流洋上体験研修事業運営委員会規約

1 構成及び選任について

広域連携中学生交流洋上体験研修事業運営委員会（以下「運営委員会」という。）は、広域連携中学生交流洋上体験研修事業実施要項（以下「要項」という。）に基づき、原則として18名で構成する。

また、選任については、広域連携中学生交流洋上体験研修事業実行委員会が決定する。

2 任務について

運営委員会は、要項に基づき広域連携中学生交流洋上体験研修事業（以下「研修事業」という。）の研修プログラムの運営及び研修生の指導的役割を担う。

3 運営委員会の役割分担について

研修事業を円滑に運営するため、役職を次のとおり定める。

また、指揮系統を明確にするための組織図は別紙のとおりとする。

1 統括責任者	1名
2 運営管理者	1名
3 指導主任	1名
4 指導担当	5名
5 看護担当	2名
6 運営担当	8名

4 運営委員会議の開催について

運営委員会議は、秦野市文化スポーツ部生涯学習課（以下、「生涯学習課」という。）と調整しながら随時開催するものとする。

5 その他

この規約に定めるほか、本事業に関して必要な事項は運営委員会と生涯学習課で協議する。

附則

この規約は、平成31年4月15日から施行する。

＜運営スタッフ名簿＞

[本部スタッフ]

No.	役割	氏名	性別	所属	職名
1	統括責任者	おうえか 逢坂 伸一	男	秦野市社会教育委員会議	議長
2	運営管理者	ごみた なおふみ 五味田 直史	男	秦野市生涯学習課	課長
3	運営担当	いしはら つよし 石原 豪	男	秦野市生涯学習課	課長代理
4	運営担当	やまぐち しょうこ 山口 聖子	女	秦野市生涯学習課	主任主事
5	運営担当	まつなが なおゆき 松永 尚之	男	秦野市生涯学習課	主事
6	運営担当	やまぐち りょうへい 山口 良平	男	中井町生涯学習課	主事
7	運営担当	いなば りょうぞう 稲葉 亮三	男	大井町生涯学習課	主査
8	運営担当	いのうえ ゆうき 井上 佑季	男	松田町教育課	主事
9	運営担当	すが あきほ 須賀 亜希穂	女	二宮町生涯学習課	副主幹
10	運営担当	おおどう なおと 大堂 直人	男	清川村生涯学習課	主事補
11	看護担当	いぐさ あきの 伊草 晶野	女	松田町子育て健康課	保健師
12	看護担当	ふくずみ えりこ 福任 江里子	女	二宮町子育て・健康課	保健師

[指導スタッフ]

No.	役割	氏名	性別	所属	職名
13	指導主任	あいざわ こうすけ 相澤 広輔	男	秦野市教育研究所	指導主事
14	指導担当	くぼ みさき 久保 美咲	女	秦野市立北小学校	教諭
15	指導担当	たなか もえこ 田中 萌子	女	秦野市立渋沢小学校	教諭
16	指導担当	しみず はづき 清水 葉月	女	秦野市立末広小学校	教諭
17	指導担当	さかい こうた 坂井 恒太	男	秦野市立西小学校	教諭
18	指導担当	ないとう かずき 内藤 和輝	男	秦野市立鶴巻小学校	教諭

令和元年度運営委員会組織図

統括責任者
逢坂 伸一

運営管理者
秦野市
生涯学習課長
五味田 直史

指導スタッフ

本部スタッフ

指導主任
秦野市教育委員会
教育研究所
相澤 広輔

指導担当
秦野市立北小学校
久保 美咲
指導補助①

指導担当
秦野市立鶴巻小学校
内藤 和輝
指導補助②

指導担当
秦野市立渋沢小学校
田中 萌子
指導補助③

指導担当
秦野市立末広小学校
清水 葉月
指導補助④

指導担当
秦野市立西小学校
坂井 恒太
指導補助⑤

1 班
8 人

2 班
7 人

3 班
7 人

4 班
7 人

5 班
8 人

6 班
8 人

7 班
7 人

8 班
7 人

9 班
6 人

10 班
7 人

運営担当

山口（中井町）	設営物資・指導補助①
井上（松田町）	設営物資・指導補助②
須賀（二宮町）	食事指導・指導補助③
稲葉（大井町）	食事指導・指導補助④
大堂（清川村）	食事指導・指導補助⑤
石原（秦野市生涯学習課）	涉外
山口（秦野市生涯学習課）	涉外・記録
松永（秦野市生涯学習課）	涉外

看護担当

伊草（松田町）	保健師
福住（二宮町）	保健師



研修運営：広域連携中学生交流洋上体験研修事業実行委員会

秦野市・秦野市教育委員会、中井町・中井町教育委員会
大井町・大井町教育委員会、松田町・松田町教育委員会
二宮町・二宮町教育委員会、清川村・清川村教育委員会